

Iwami Art Museum

令和3
[2021]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2021- March 2022

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
コレクション展	13
その他の展覧会	29
ミュージア	30
教育普及活動	32
新聞・雑誌への寄稿	34
ボランティア	35
各種割引	36
所蔵作品一覧	40
新収蔵作品一覧	57
所蔵作品貸出実績	59
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	60
収支概要	61
島根県芸術文化センター条例	62
島根県立石見美術館管理規則	67
施設概要	70
運営組織体制	73
利用案内	74

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐくまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D・A	ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会	令和3年3月20日～5月16日
	展示室C	ファッション イン ジャパン展 島根会場特別展示 ノノ かみと布の原郷	令和3年3月20日～5月16日
	展示室D	杉浦非水 時代をひらくデザイン	令和3年7月3日～8月30日
	展示室D	河井寛次郎と島根の民藝 手がつくる、親しいかたち	令和3年9月11日～11月1日
	展示室D	美男におわす	令和3年11月27日～令和4年1月24日
コレクション展	展示室A	生けるが如し—石見根付	令和3年5月21日～7月11日
		清爽—夏に見たい日本画	令和3年7月15日～8月30日
		ファッションを伝える、広げる	令和3年9月1日～10月4日
		花鳥と走獣	令和3年10月6日～11月7日
		雲谷派	令和3年11月18日～12月20日
		夢想—絵画にみる詩的表現	令和3年12月22日～令和4年2月7日
		日本絵画にみる中国への憧れ	令和4年2月9日～4月11日
	展示室B	「みる」をめぐる	令和4年3月16日～4月25日
	展示室C	ラウル・デュフィのテキスタイル・デザイン	令和3年5月26日～7月12日
		フォーマル／カジュアル	令和3年7月14日～8月23日
		つらなり、かさなり	令和3年8月26日～11月7日
		「美人」をうつす	令和3年11月18日～令和4年1月10日
		木の表情	令和4年1月13日～3月7日
宮芳平の詩と芸術		令和4年3月12日～4月25日	
その他の展覧会	展示室D	第39回益田市美術展	令和4年2月17日～2月20日(中止)
		全島根小中学校図画作品展益田展	令和4年2月26日～2月28日(中止)
		第20回記念益田書道展	令和4年3月4日～3月6日
		第54回島根県総合美術展(県展)移動展	令和4年3月10日～3月13日

※第54回島根県総合美術展(県展)移動展は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年2月3日から2月6日までの開催を上記期間に延期した。

企画展 ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会

会 期：令和3年3月20日(土・祝)～5月16日(日)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,200(950)円

大学生／600(450)円

小中高生／300(250)円

前売券 一般／1,000円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、国立新美術館、読売新聞社、しまね文化振興財団、日本海テレビ、山陰中央新報社、中国新聞社、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援：芸術文化とふれあう協議会、NHK 松江放送局

協 力：七彩

内 容

本展は、国立新美術館と当館との共同企画である。両館の学芸員が分担して資料調査を行い、これまで所在不明であった戦後日本のファッションを跡づける様々な資料が見出された。本展においてそれらを展示し、戦後日本のファッションの「創造性」「革新性」を明らかにした。また、そうした資料をとおして、戦後日本の社会を紐解くという、これまでにない展示となった。本展出品資料を撮影し、データを整理して展覧会図録に収録し、またファッションショーの映像を編集し公開するなど、戦後日本のファッションを跡づける資料のアーカイブ化がすすんだ。本展の成果が、ファッション研究者、デザイナーをはじめとする多くの人の目に触れることにより、さらなる資料の発見、あるいは展覧した資料に関するさらなる情報の蓄積が予想され、本展を契機に、「戦後日本のファッション」の研究が進展することが期待される。

本展は2館の巡回展であるが、当館では石見出身のファッションデザイナー森英恵の衣装を東京会場より多く展示するなど工夫した。また、当会場限定で、特別展示「コスミックワンダーと工藝ばんくす舎 ノノ かみと布の原郷」を開催した。

展覧会では、展示内容を分かりやすく解説したガイドブック(和文と英文で作成)を国立新美術館と共同で作成し、当館の立地する益田市他、近隣の小中学校に全生徒分配布。小学生のグループが来訪するなど、成果があった。

新聞、雑誌掲載

読売新聞4月1日 南目 美輝 寄稿

中国新聞4月9日 展覧会紹介記事

読売新聞4月13日 展覧会紹介記事

山陰中央新報4月13日 展覧会紹介記事

中国新聞4月21日 南目 美輝 寄稿

中国新聞4月22日 本橋 弥生(国立新美術館) 寄稿 *所属は寄稿時のもの

中国新聞4月23日 小野寺 奈津(国立新美術館) 寄稿

朝日新聞4月28日 展覧会紹介記事

『藝術家』2021年5月号 趙 宜恬

中国新聞5月1日 展覧会紹介記事

読売新聞5月2日 関連プログラム取材記事

山陰中央新報5月2日 関連プログラム取材記事

山陰中央新報5月4日 南目 美輝 寄稿

山陰中央新報5月17日 展覧会紹介記事

季刊誌『tatva』vol.2 7月10日 南目 美輝 廣田 理紗 対談

(令和2年度に掲載されたものについては令和2年度の年報に記載した。)



会場



スペシャルトーク



グラントワ ecoマーケット2021

印刷物

先行告知ツール(割引券付きしおり) 7種

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折

子どものための鑑賞ガイド：縦210×横111.4mm 蛇腹 7ツ折
(デザイン：以上すべてLABORATORIES)

展覧会図録：青幻舎発行

関連事業

スペシャルトーク「『装苑』と日本のファッションと雑誌と。」

雑誌『装苑』の元編集者西谷真理子氏を招きトークショーを行なった。今回は、編集者江島玉枝がかかわった1965～1972年までの『装苑』について、それまでの誌面等と比較しつつ、江島の手がけた時期の雑誌の内容の特色を確認した。あわせて作るものから買うものへと変化した服をめぐる当時の状況も概観した。

講師：西谷 真理子(京都精華大学客員教授)

日時：5月1日(土)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：31名

グラントワ ecoマーケット2021

現在ファッションを考える上でキーワードとなる「サステナブル」「リサイクル」をテーマに開催。「地産地消、良質な素材、地球環境に優しい、心身が癒される」などにこだわり、マーケットやヨガ、ワークショップなどを行い、益田市圏域の人々が来館し賑わった。

日時：5月1日(土)10:00～14:00

参加者：1800名

ギャラリートーク

日時：4月11日(日)、18日(日)、5月5日(水・祝)、15日(土)いずれも14:00～

参加者：48名

ドレスコードでプレゼント

会期中の土日祝日に赤色または白色のものを身につけてきた方、先着20名に赤いエコバッグをプレゼントした。

参加者：346名

その他

ニコニコ美術館

展覧会会場を学芸員が解説しながら生中継するインターネット配信番組。視聴者が番組を見ながらコメントすることもできる。

出演：南目 美輝(当館学芸課長)、廣田 理紗(当館主任学芸員)

日時：3月26日(金)19:00～22:00

会場：展示室D、A(オンラインにより開催)

視聴者総数：19,474名

ファッション イン ジャパン展 島根会場特別展示 ノノ かみと布の原郷



チラシ



会場



会場



会場

展覧会名：ファッション イン ジャパン展 島根会場特別展示 ノノ かみと布の原郷

会 期：令和3年3月20日(土・祝)～5月16日(日)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,200(950)円

大学生／600(450)円

小中高生／300(250)円

前売券 一般／1,000円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障がい者手帳保持者、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

*企画展「ファッション イン ジャパン」のチケットで観覧可能

主 催：島根県立石見美術館、国立新美術館、読売新聞社、しまね文化振興財団、日本海テレビ、山陰中央新報社、中国新聞社、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援：芸術文化とふれあう協議会、NHK 松江放送局

内 容

本展は、紙と水を手がかりに日本人の自然観・宇宙観を再考するプロジェクトを手がけてきた「コスミックワンダーと工藝ばんくす舎」を招聘し、開催する「ファッション イン ジャパン」展の島根会場特別企画。消費社会が成立する以前のこの国の衣服に注目する者。江戸中期に木綿が普及する以前、一般の人々が暮らしの糧とした藤や椿、大麻、苧麻、オヒョウ、芭蕉などといった樹皮繊維を原料とする手漉き和紙や「自然布」に注目し、紙と布から日本各地の特性や人々の暮らし、精神性を見つめた。文献調査、フィールドワークを通して考察を重ね、その成果を衣服や工芸品として新たに形にし、着想源とした文化財(古器や布)と併せて展示した。また、新作はパフォーマンスにより披露し、その世界観を総合的に示した。

自然環境が大きな変動を続けている今、自然と人間との関係、人の生き方を根幹で支える精神を見つめる機会となることを期待した。

新聞、雑誌掲載

読売新聞4月7日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞4月24日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞4月25日 廣田 理紗 寄稿

(令和2年度に掲載されたものについては令和2年度の年報に記載した。)

印 刷 物

展覧会チラシ：A4 孔版印刷(印刷：文林堂)

ハンズアウト、作品リスト：A4 16ページ 白黒

(デザイン：すべて吉村 麻紀)

関連事業

スペシャルトーク「ノノをめぐる」*新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、二度の開催日時変更を経て中止となった。

近世麻布研究所を主宰し、麻布を中心に自然布の収集・研究を続けている現代美術家の吉田真一郎さんと、京都府宮津市の藤布の里、上世屋に移り住み、藤布の保存・継承に尽力している井之本泰さんをお招きし、お二人の活動とご研究について伺う内容。

日 時：4月24日(土)14:00～16:00

会 場：グラントワ講義室

出 演：吉田 真一郎(近世麻布研究所所長)、井之本 泰(丹後藤織り保存会顧問)

聞き手：工藝ばんくす舎(前田 征紀、石井 すみ子)

ギャラリートーク

日 時：4月10日(土)、5月16日(日)いずれも14:00～

参加者：20名



会場



会場



会場



「ノノ お水え」 撮影：長島 有里枝



「ノノ お水え」 撮影：長島 有里枝

企画展 杉浦非水 時代をひらくデザイン



ポスター



会場



会場



記念講演会

展覧会名：企画展 杉浦非水 時代をひらくデザイン

会 期：令和3年7月3日(土)～8月30日(月)

前期：7月3日(土)～8月2日(月)、後期：8月4日(水)～30日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、毎日新聞社、BSS山陰放送

協 賛：ニューカラー印刷株式会社

企画協力：愛媛県美術館

特別協力：(株)三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

日本の商業デザインの近代化に大きく貢献した杉浦非水(1876-1965)の回顧展。三越のポスターや広報誌をはじめ、初期から晩年までに手がけたポスター、雑誌表紙、装幀、図案集など多岐にわたる作品を展示した。

全国巡回展であったが、当館ではデザインの仕事につく以前、島根県第二中学校(現・島根県立浜田高等学校)に図画の教員として勤務していたことに注目した。愛媛県美術館所蔵の島根時代のスケッチブックの調査により、浜田市や江津市で非水が精力的に写生をしていたことがわかった。約120年前の石見各地の風景や、日露戦争の日本海開戦で被弾し江津に漂着した「イルティッシュ号」の様子を描いた雑誌の口絵は郷土史の関係者からの関心を集め、多くの問い合わせがあった。調査の成果の反映として、非水のスケッチと現在の同じ場所の写真を掲載した石見写生地マップを作成し、会場に掲示したほか、「鑑賞ガイド」にも掲載して来場者に配布した。さらに当館のみの特別出品として、島根県立浜田高等学校より非水在籍中の卒業記念写真を借用し、展示した。

また近年、来場者が写真を撮れる「フォトスポット」の需要が高まっていることを受け、非水の地下鉄のポスターの人の列に入って記念写真が撮れる大型のボードを設置した。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報5月20日 川西 由里 寄稿

毎日新聞6月5日 展覧会告知記事

新美術新聞7月1日 川西 由里 寄稿

山陰中央新報7月3日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月3日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月4日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月5日 川西 由里 寄稿

中国新聞7月5日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月6日 川西 由里 寄稿

毎日新聞7月7日 川西 由里 寄稿

毎日新聞7月8日 川西 由里 寄稿

毎日新聞7月10日 川西 由里 寄稿

毎日新聞7月24日 川西 由里 現地調査取材記事

毎日新聞7月26日 記念講演紹介記事

山形新聞8月10日 展覧会紹介記事

信濃毎日新聞8月11日 展覧会紹介記事

毎日新聞8月13日 関連プログラム紹介記事

愛媛新聞8月14日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月18日 関連プログラム紹介記事

岩手新聞8月19日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月20日 岩町 功(石見郷土研究懇話会) 寄稿



ギャラリートーク



フォトスポット

読売新聞8月26日 展覧会紹介記事

『ぶらぶら美術・博物館 プレミアムアートブック 2021-2022』8月30日 展覧会広告

『藝術家』2021年9月号 趙 宜恬

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4 2種類

子どものための鑑賞ガイド：A3版 四つ折り

内覧会案内状：23.0×11.5cm

(デザイン：以上すべて野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会「杉浦非水が目指したもの：その生涯と仕事」

愛媛県美術館で長年、杉浦非水を研究してきた学芸員による、非水の生涯と作品の紹介。

講師：長井 健(愛媛県美術館 専門学芸員)

日時：7月24日(土)14:00~15:30

会場：講義室

参加者：27名

MUSEUM×THEATER：ミュージア vol.15「名画をいろどる話芸と音楽 vol.9 一夢声と非水の時代」

出演：坂本 頼光(活動写真弁士)、鈴木 広志(サクソ)、大口 俊輔(ピアノ)、小林 武文(パーカッション)

日時：8月21日(土)18時30分開演

会場：小ホール

参加者：100名

※詳細は「ミュージア(30ページ)」に記載

連載インタビュー「デザイナーの眼から見た非水の魅力」

本展のポスター、チラシ等をはじめ、全国の美術館・博物館の広報デザインで活躍するデザイナー、野村勝久氏が語る「デザイナーの眼から見た非水の魅力」をグラントワ公式 Facebookにて連載(Instagramにも転載)。デザイナーならではの具体的な指摘が好評で、多くの支持を集めた。当初はデザインについての対面のワークショップを依頼する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止になる恐れがあったため、web上のインタビューに切り替えた。

講師：野村 勝久(野村デザイン制作室)

掲載日：8月16、18、20、22、24、26、28日(全7回)

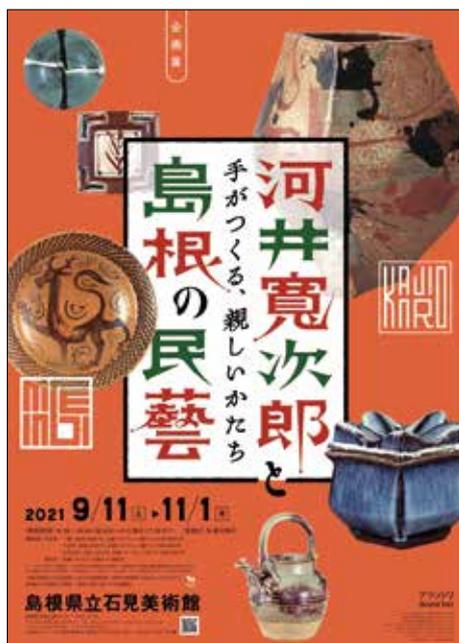
「いいね」数：のべ584

ギャラリートーク

日時：7月3日(土)、18(日)、8月1日(日)、29日(日)いずれも14:00~

参加者：のべ50名

企画展 河井寛次郎と島根の民藝 手がつくる、親しいかたち



ポスター



会場



会場



開幕記念ギャラリートーク

展覧会名：企画展 河井寛次郎と島根の民藝 手がつくる、親しいかたち

会 期：令和3年9月11日(土)～11月1日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ

特別協力：島根県立美術館

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

大正から昭和にかけて活躍した、島根県安来市出身の陶芸家・河井寛次郎の回顧展。河井の初期から晩年までの仕事を、島根県立美術館(松江市)のコレクションから紹介した。あわせて、河井が推進した「民藝運動」にも注目し、濱田庄司や棟方志功など民藝運動を全国に推進した作家たちの作品や、島根の民藝についても紹介した。

島根県立美術館の河井寛次郎コレクション約90点を一堂に展示する機会はいまだなかったため、貴重な機会となった。「ふるさと島根寄付金」を活用し、同コレクションで河井寛次郎に関するガイドブックも作成した。子どもから大人まで楽しめる内容とし、英語翻訳も入れて外国の方にも理解できるよう配慮した。島根県東西の県立美術館による共同成果の一つとして、本展は意義深いものとなった。

また、石見地域の民藝運動についても掘り下げて紹介することができた。例えば、民藝の父・柳宗悦が絶賛した益田地域の喜阿弥焼、石見地域の登り窯や石見焼などである。石見地域に住む方々からも、自分たちの地域の歴史を知る機会になったとして好評だった。

新聞、雑誌掲載

読売新聞5月2日 展覧会紹介記事

島根県立美術館ニュース2021年7月号 山本 麻代(島根県立美術館) 寄稿

山陰中央新報8月21日 展覧会紹介記事

新美術新聞9月11日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報9月11日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月12日 関連プログラム取材記事

山陰中央新報9月15日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報9月16日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報9月17日 角野 広海 寄稿

中国新聞9月18日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月18日 角野 広海 寄稿

毎日新聞9月19日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月26日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報9月26日 関連プログラム取材記事

『芸術新潮』2021年10月号10月25日 展覧会紹介記事

山陰中央新報10月24日 関連プログラム取材記事

印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

河井寛次郎に関するガイドブック：B5版 全16ページ

内覧会案内状：23.0×11.5cm

(デザイン：以上すべて野村デザイン制作室)



記念講演会



陶器制作の実演鑑賞

関連事業

開幕記念ギャラリートーク

本展の特別協力者である島根県立美術館(松江市)の担当学芸員による、展示解説。

講師：山本 麻代(島根県立美術館 主任学芸員)

日時：9月11日(土)14:00~15:00

会場：展示室D

参加者：25名

記念講演会「河井寛次郎の人と作品～手驚足喜～」

河井寛次郎の孫でもある学芸員に、河井寛次郎の人となりやエピソード、作品の魅力についてお話いただいた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講師はリモート出演となった。

講師：鷺 珠江(河井寛次郎記念館 学芸員)

日時：9月25日(土)14:00~15:30

会場：講義室

参加者：29名

陶器制作の実演鑑賞

河井寛次郎の内弟子を勤めた石見の陶工を招き、「型押し」、「筒描き」、「打葉」、「泥刷毛目」など、河井が駆使した制作技法を実演していただいた。

講師：森山 雅夫(森山窯／島根県大田市温泉津町)

日時：10月23日(土)14:00~15:30

会場：講義室

参加者：25名

ギャラリートーク

日時：9月19日(日)、10月16日(日)、31日(日)いずれも14:00~

参加者：のべ60名

企画展 美男におわす



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 美男におわす

会 期：令和3年11月27日(土)～令和4年1月24日(月)

前期：11月27日～12月20日、後期：12月22日～1月24日

休 館 日：毎週火曜日、12月28日～1月2日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円

大学生／500円

小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社、日本海テレビ

協 力：ヤマト運輸株式会社

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

絵画をはじめとする日本の視覚文化に表された美少年、美青年のイメージを追い、人々が理想の男性像に何を求めてきたかを探る試み。当館で企画を提案し、埼玉県立近代美術館と共同で内容を構成した。コロナ感染拡大による会期延期などを経たのち、開催が実現した。

日本美術史において「美人画」とよばれることの多い女性像は、江戸時代の浮世絵や近代絵画において隆盛をきわめ、現在も高い人気を誇っている。しかし一方で男性像に目を向けると、理想化された権力者の肖像画や、人気の高い物語の主人公、大衆の憧れの的となった役者絵や武者絵など、その時々々の社会情勢や流行、男性観などが反映された作品が数多く存在するものの、「美男画」といった呼称でひとくくりにされることはなかった。いまだ十分な光が当たっているとは言いがたい美男画は、ライフスタイルや嗜好が多様化した現代において、どう受け止められるのか。本展では、時代やジャンルを問わず様々な男性像を一堂に集め、各作品の制作や受容の背景を紹介した。

新聞、雑誌掲載

『芸術新潮』2021年10月号10月25日 展覧会紹介記事

『版画芸術』No.194 12月1日 展覧会紹介記事

中国新聞11月27日 展覧会紹介記事

山陰中央新報11月27日 展覧会紹介記事

中国新聞11月29日 展覧会広告

『週刊文春』12月23日 木下 直之(静岡県立美術館) 寄稿

毎日新聞12月7日 展覧会紹介記事

中国新聞12月7日 左近充 直美 寄稿

中国新聞12月8日 左近充 直美 寄稿

中国新聞12月9日 左近充 直美 寄稿

中国新聞12月10日 川西 由里 寄稿

中国新聞12月11日 川西 由里 寄稿

中国新聞12月17日 展覧会紹介記事

読売新聞12月23日 展覧会紹介記事

『藝術家』2022年1月号 趙 宜恬

毎日新聞2022年1月12日 小林 公(兵庫県立美術館) 寄稿

『さんいんキラリ』冬春号1月12日 左近充 直美 寄稿



会場



会場



アーティストトーク



ワークショップ



ギャラリートーク

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折り

内覧会案内状：23.0×11.5cm

展覧会図録(株式会社青幻舎発行)：26.0×18.5cm 239ページ

鑑賞ガイド：21.0×15.0cm 三つ折り

(デザイン：以上すべて塚原 敬史(トリムデザイン))

関連事業

開幕記念 アーティストトーク「男を観る楽しみ、描く楽しみ」

開幕初日、出品作家である木村了子氏に、男性表現の可能性や楽しさについて語っていただいた。当館学芸員との対談形式で開催し、展示作品とそれ以外に制作している作品の背景、美術史上の作品との関連などについてお話を伺った。

講師：木村 了子(画家、出品作家)

日時：11月27日(土)14:00～15:30

会場：多目的ギャラリー

参加者：34人

ワークショップ「美男画を描いてみよう」

出品作家であり、益田市出身・在住のイラストレーターとして活躍している乃希氏を講師に招き、参加者にオリジナルの「美男」のイラストを描くためのコツを教えてもらった。小学生から大人まで参加者の年齢幅は広がったが、個別指導により初心者にも楽しんで描ける内容となった。

講師：乃希(イラストレーター、出品作家)

日時：1月8日(土)13:00～16:00

会場：多目的ギャラリー

参加者：12人

ギャラリートーク

日時：12月4日(土)、19日(日)、1月15日(土)、23日(日)いずれも14:00～

参加者：42名

その他

ニコニコ美術館

展覧会会場を学芸員が解説しながら生中継するインターネット配信番組。視聴者が番組を見ながらコメントすることもできる。

出演：川西 由里(当館専門学芸員)、佐伯 綾希(埼玉県立近代近代美術館 学芸員)

日時：1月10日(月・祝)19:00～22:00

会場：展示室D(オンラインにより開催)

視聴者総数：20,379名

コレクション展

展示室A 生けるが如し—石見根付

会 期：令和3年5月21日(金)～7月11日(日)

内 容：かつて男性は印籠などに根付と呼ばれる留め具をつけて帯に挟んで持ち歩いた。江戸時代には今の江津市を拠点として数多くの根付作家が活躍した。彼らが作った根付を石見根付という。今回はその石見根付のなかから、生き物を題材とした作品を展示した。超絶技巧と言ってもよい匠の技を見ることができる作品ばかりである。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
2	可専	亀	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
3	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨歯	島根県立石見美術館
4	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
5	伝富春	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
6	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
7	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
8	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
9	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
10	伝文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
11	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
12	伝巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
13	貫満	和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田真コレクション)
14	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
15	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
16	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
17	廣花堂	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
18		猪牙に忍草と蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
19	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
20		枝に蟬	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
21	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
22		流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
23	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
24		蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
25	葛刈	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
26	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
27	伝富春	葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
28	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
29	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
30	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
31		猪牙に蜘蛛	18～19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
32	前田 中	番	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
33	阿部 祐幸	明暗	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
34	和地 一風	月下の祈り	平成17年(2005)	猪牙、べっ甲、海松	島根県立石見美術館
35	高木 喜峰	迷い道	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
36	田中 俊暲	おろち	平成19年(2007)	猪牙	島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞5月22日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月31日 展覧会紹介記事

毎日新聞6月11日 展覧会紹介記事

読売新聞6月26日 展覧会紹介記事

展示室A 清爽一夏に見たい日本画

会 期：令和3年7月15日(水)～8月30日(月)

内 容：所蔵する日本画から、涼しさを感じさせる水辺の風景や山水図、夕涼みの図などを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
2	竹内 栖鳳	藤花薜花群犬図	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
3	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33年(1900)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
4	川村 曼舟	牧牛図	大正時代頃	絹本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
5	中林 竹洞	湖山清遠図	天保5～8年(1834～1837)頃	絹本墨画、軸	島根県立石見美術館
6	山本 梅逸	山水図	天保4年(1833)	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
7	谷 文晁	滝図	文政11年(1828)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
8	山本 栞谷	滝見観音	江戸時代末	紙本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
9	山本 栞谷	月下横臥図	万延元年(1860)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
10	富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
11	寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
12	島崎 柳烏	納涼	明治33年(1900)頃	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
13	不二木 亜古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
14	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館

展示室A ファッションを伝える、拡げる

会 期：令和3年9月1日(水)～10月4日(月)

内 容：衣服やスタイルが敷衍してゆく過程にあるメディアの役割に注目し、ファッション雑誌や写真を中心に展示した。特に数多くの名作ファッション写真を世に生み出したアメリカン『ヴォーグ』と同誌で活躍した写真家に光を当てた。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	写真：ルトランジェ	『レ・モード』1905年5月号より「」	1905年	印刷、紙	島根県立石見美術館
2	写真：ルトランジェ	『レ・モード』1909年12月号より「ドゥーセのドレス」	1909年	印刷、紙	島根県立石見美術館
3		『ガゼット・デュ・ボン・トン』1920年no.8 本紙	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
4	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
5	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
6	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
7	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
8	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
9	バロン・アドルフ・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
10	バロン・アドルフ・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
11	エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	1923年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
12	エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	エドワード・スタイケン	無題		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
14	写真：エドワード・スタイケン	アメリカ版『ヴォーグ』1932年7月1日号表紙	1932年	印刷、紙	島根県立石見美術館
15	写真：エドワード・スタイケン	アメリカ版『ヴォーグ』1935年12月15日号 [the college man's vote Slinky, fluffy]	1935年	印刷、紙	島根県立石見美術館
16	ホルスト・P・ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
17	写真：ホルスト・P・ホルスト	アメリカ版『ヴォーグ』1936年3月1日号 [PARIS OPENINGS]	1936年	印刷、紙	島根県立石見美術館
18	写真：ホルスト・P・ホルスト	アメリカ版『ヴォーグ』1940年1月1日号 [New triumphs for turbans]	1940年	印刷、紙	島根県立石見美術館
19	写真：ホルスト・P・ホルスト	アメリカ版『ヴォーグ』1940年6月1日号表紙	1940年	印刷、紙	島根県立石見美術館
20	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ヴィオネ	1939年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
21	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
22	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・パラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
23	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
24	アーヴィン・ブリューメンフェルド	模様ガラスの向こう側のリセット 「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1943年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
25	アーヴィン・ブリューメンフェルド	モデルとマネキン、表紙のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1945年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
26	アーヴィン・ブリューメンフェルド	三重に写されたピーターセン、ファッションページのための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1947年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
27	アーヴィン・ブリューメンフェルド	顔の上の線「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1947～49年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
28	アーヴィン・ブリューメンフェルド	壊れた鏡(モデルはティディ・サーマン)「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1947～49年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
29	アーヴィン・ブリューメンフェルド	エリザベス・アーデンの広告写真のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1948年頃 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
30	アーヴィン・ブリューメンフェルド	キュビズムで表現された紫のヌード「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1949年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
31	アーヴィン・ブリューメンフェルド	水による効果、表紙のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1950年 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
32	アーヴィン・ブリューメンフェルド	歪んだヌード「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1950年頃 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
33	アーヴィン・ブリューメンフェルド	デコルテ「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1950年頃 (1984年)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
34	写真：アーヴィン・ブリューメンフェルド	アメリカ版『ヴォーグ』1945年11月1日号表紙	1945年	印刷、紙	島根県立石見美術館
35	写真：アーヴィン・ブリューメンフェルド	アメリカ版『ヴォーグ』1950年1月1日号表紙	1950年	印刷、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
36	写真：アーヴィン・ブリューメンフェルド	アメリカ版『ヴォーグ』1952年10月15日号表紙	1952年	印刷、紙	島根県立石見美術館
37	クリスチャン・ディオール／イブ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグランスリーブ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーターが、スカートにはチュール地の3段のペチコートが縫いつけられている。	島根県立石見美術館
38	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
39	ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
40	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
41	ウィリアム・クライン	染屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
42	写真：ウィリアム・クライン	アメリカ版『ヴォーグ』1958年3月15日号 [People talking about...]	1958年	印刷、紙	島根県立石見美術館
43	写真：ウィリアム・クライン	アメリカ版『ヴォーグ』1958年9月1日号 [PARIS REPORT]	1958年	印刷、紙	島根県立石見美術館
44	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965~67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。	島根県立石見美術館
45	アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。	島根県立石見美術館
46	写真：アーヴィング・ベン	アメリカ版『ヴォーグ』1964年9月1日号 [Paris, New idea, the Next]	1964年	印刷、紙	島根県立石見美術館
47	写真：ウィリアム・クライン	アメリカ版『ヴォーグ』1965年3月1日号 [Paris fashion, Edditer's report]	1965年	印刷、紙	島根県立石見美術館
48	ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。	島根県立石見美術館
49	ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス	1967年	ライム・グリーンのウール・ニット。ビニールのインサージョン。	島根県立石見美術館
50		『TIME』1967年12月1日号表紙	1967年	印刷、紙	島根県立石見美術館

展示室A 花鳥と走獣

会 期：令和3年10月6日(水)～11月7日(日)

内 容：日本美術の伝統的な画題である「花鳥」と「走獣」をテーマに、日本画を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	天保5～8年(1834～37)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
2	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期・19世紀	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
3	今尾 景年	雪南天狗児図	明治31年(1898)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
4	平福 百穂	七面鳥・鴨	大正3年(1914)	紙本着色、対幅	島根県立石見美術館
5	山田 道安	芦雁図	室町時代後期～桃山時代・16世紀	紙本墨画、対幅	島根県立石見美術館
6	曾我 二直庵	鷺鷹図	江戸時代前期・17世紀前半	紙本墨画、対幅	島根県立石見美術館
7	西 晴雲	四季花木図	大正時代・20世紀初	紙本着色、四幅対	島根県立石見美術館
8	尊俊	龍虎図	室町時代後期・16世紀中頃	紙本墨画、対幅	島根県立石見美術館
9	今尾 景年	花鳥図屏風	明治時代～大正時代・20世紀初	絹本金地著色、六曲一双	島根県立石見美術館
10	横山 華山	龍虎図屏風	江戸時代後期・19世紀初	紙本墨画、六曲一双	島根県立石見美術館

展示室A 雲谷派

会 期：令和3年11月18日(木)～12月20日(月)

内 容：「雲谷派」は桃山時代から江戸時代にかけての約300年にわたって、室町時代の画僧・雪舟等楊に倣った画風で活躍した流派。本展では雲谷派に関わる作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初前期・16世紀～17世紀	紙本墨画淡彩、六曲一隻	島根県立石見美術館
2	雲谷派	四季山水図屏風	桃山時代～江戸時代初前期・16世紀～17世紀	紙本墨画淡彩、八曲一双	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代前期・17世紀	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
4	雲谷 等顔	山水人物花鳥図 押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代初前期・16世紀～17世紀	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期・17世紀	紙本墨画淡彩、三福対	島根県立石見美術館
6	斎藤 等室	山水図	江戸時代前期・17世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
7	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代前期・17世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館

展示室A 夢想—絵画に見る詩的表現

会 期：令和3年12月22日(水)～令和4年2月7日(月)

内 容：心のなかにある、夢のような世界を視覚化して表すことは、美術の重要な手段のひとつ。近現代美術を中心に「詩的な要素をもつ表現」「空想や夢など、現実とは少し異なる世界を描いた作品」を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
2	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色	島根県立石見美術館
3	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀～20世紀初期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	橋本 明治	荘園	1934年	絹本着色	島根県立石見美術館
7	東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
11	草間 彌生	18j	1954年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
12	小林 敬生	蘇生の刻—早春—	1988年	木口木版、紙	島根県立石見美術館
13	古沢 岩美	裸婦	不詳(昭和時代)	銅版、紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	銅版(エッチング)、紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	山と月	1935年頃	銅版(エッチング)、紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	銅版(エッチング)、紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	月(望月)	1935年頃	銅版(エッチング)、紙	島根県立石見美術館
18	ベルナルド・フォコン	島の祭り <時の不確かな進化より>	1983年	フレクソ・プリント	島根県立石見美術館
19	ベルナルド・フォコン	到着 <夏休み>より	1978年	フレクソ・プリント	島根県立石見美術館
20	ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ <夏休み>より	1980年	フレクソ・プリント	島根県立石見美術館
21	アーヴィン・ブリューメンフェルド	壊れた鏡(モデルはテディ・サーマン)「エイジ・オブ・エレガンス」10点組のうちの1点	1947～49年(1984年印刷)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
22	アーヴィン・ブリューメンフェルド	水による効果、表紙のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」10点組のうちの1点	1950年(1984年印刷)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館

展示室A 日本絵画にみる中国への憧れ

会 期：令和4年2月9日(水)～4月11日(月)

内 容：室町時代の水墨画や江戸時代の文人画(南画)など、中国の古画を手本とした日本絵画を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代・16世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
2	周憲	達磨図	室町時代・16世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
3	曾田 友栢	達磨図	桃山～江戸時代・16～17世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
4	海北 友松	祖師図	桃山～江戸時代・16～17世紀	紙本墨画、対福	島根県立石見美術館
5	啓孫	騎驢人物図	室町時代・16世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
6	等頌	牧童図	室町時代・16世紀	紙本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
7	近衛 信尹	渡唐天神図	桃山～江戸時代・16～17世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
8	田中 頼璋	林名靖愛鶴図	昭和10年(1935)頃	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
9	雲谷 等的	山水図	江戸時代・17世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
10	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代・18世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
11	中林 竹洞	湖山清遠図	江戸時代・19世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
12	山本 梅逸	山水図	江戸時代・19世紀	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
13	山田 道安	芦雁図	室町～桃山時代・16世紀	紙本墨画、対福	島根県立石見美術館
14	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	天保5～8年(1834～37)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
15	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代・19世紀	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
16	松林 桂月	菊花双鶏図	大正11年(1922)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
17	山本 栞谷	遊魚図	弘化3年(1846)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
18	山本 栞谷	月下横臥図	万延元年(1860)	絹本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
19	山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代・19世紀	紙本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
20	山本 栞谷	年中行事図屏風	江戸時代・19世紀	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館

展示室B 「みる」をめぐる

会 期：令和4年3月16日(水)～4月25日(月)

内 容：あらためて「みる」ことに注目し、「よくみる、そして描く」「内面をみつめる」「みる／みられる」という切り口で、当館のコレクションを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	杉浦 非水	『非水百花譜』《木蓮(もくれん)》	1920～22年	木版、紙	島根県立石見美術館
4	杉浦 非水	『非水百花譜』《蓮華(れんげ)》	1920～22年	木版、紙	島根県立石見美術館
5	杉浦 非水	『非水百花譜』《鬼芥子(おにげし)》	1920～22年	木版、紙	島根県立石見美術館
6	杉浦 非水	『非水百花譜』《大山木(たいさんぼく)》	1920～22年	木版、紙	島根県立石見美術館
7	藤田 嗣治	青いドレスの女	1939年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
11	草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
12	草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
13	殿敷 侃	不明(ノコ)	1970年代後半か	銅版、紙	島根県立石見美術館
14	殿敷 侃	不明(釣針)	1970年代後半か	銅版、紙	島根県立石見美術館
15	殿敷 侃	不明(くし(長柄))	1970年代後半か	銅版、紙	島根県立石見美術館
16	殿敷 侃	クシ	1970年代後半か	銅版、紙	島根県立石見美術館
17	殿敷 侃	不明(釘)	1970年代後半か	銅版、紙	島根県立石見美術館
18	ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
19	ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
20	ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
21	ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
22	ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館

展示室C ラウル・デュフィのテキスタイル・デザイン

会 期：令和3年5月26日(水)～7月12日(月)

内 容：20世紀前半にフランスで活躍した画家、ラウル・デュフィ(1877-1953)。明るい色彩と独特の筆さばきで独自のスタイルの絵画を制作する一方、挿絵やテキスタイルのデザイン、舞台美術等の仕事にも積極的に関わりました。今回は、デュフィのテキスタイル・デザインに注目し、デザイン画とテキスタイル、版画などを展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「鳥、異国の果物と花」	1912～28年	木版、紙	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チューリップ」	1914年	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チャーリー・チャップリン」	1920年頃	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「花の種蒔き」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「アポロンの馬」		グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「菊」		グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「きんれんか」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ダンス」	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「田園」	1923年頃	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
12	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より こっちよ！ポール・ボワレのドレス	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
13	参考	ポール・ボワレのドレス、ピアンキーニ・フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル「田園」による	1924年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
14	参考	ポール・ボワレのドレス、ピアンキーニ・フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル「チューリップ」による	1920年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
15	参考	ポール・ボワレのドレス、ピアンキーニ・フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル「アルファベットと花」による	1924年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
16	参考	ポール・ボワレのドレス、ピアンキーニ・フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル「アラム」による	1919年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
17	参考	ポール・ボワレのドレス、ピアンキーニ・フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル「オウム」による	1920年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
18	参考	ポール・ボワレのドレス、ピアンキーニ・フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル「海馬・鯨・貝殻」による	1925年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
19	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～1922年頃	カンヴァス、油彩	島根県立石見美術館
20	ポール・ボワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント Vネックの襟元 ロウ・ウエスト	島根県立石見美術館
21	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ドゥーヴィルまたはレガッタ」	1925年頃	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント ポール・ボワレのためのデザイン	島根県立石見美術館
22	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ダンス」	1914年	トワール・ドゥ・トゥールノン(麻布)にプリント	島根県立石見美術館
23	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「たちあおい」	1918年	シルクにプリント	島根県立石見美術館
24	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「アラム」	1919年	トワール・ドゥ・トゥールノン(麻布)にプリント	島根県立石見美術館
25	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「虎と象」	1922年	クレープ・赤・織り ポール・ボワレのためのデザイン	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
26	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「虎と象」	1914年頃	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
27	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「虎と象」	1914年頃	赤・黒 綿にプリント	島根県立石見美術館
28	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「虎と象」	1914年頃	緑・黒のリプリント 綿にプリント	島根県立石見美術館
29	ラウル・デュフィ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より春のファッション	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
30	ラウル・デュフィ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ロンシャン	1920年	印刷、紙	島根県立石見美術館
31	ラウル・デュフィ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ヘガサス	1920年	印刷、紙	島根県立石見美術館
32	ラウル・デュフィ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 果物	1920年	印刷、紙	島根県立石見美術館
33	ラウル・デュフィ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ジャングル	1920年	印刷、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

読売新聞5月27日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月27日 展覧会紹介記事

毎日新聞6月2日 展覧会紹介記事

中国新聞6月6日 展覧会紹介記事

展示室C フォーマル／カジュアル

会 期：令和3年7月14日(水)～8月23日(月)

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大にともない、世界中でステイホームが叫ばれた結果、在宅勤務やオンライン飲み会の広がりによりフォーマル(公的、公式)な装いと、カジュアル(くだけた、リラックスした)装いとが混ざり合う現象が生まれた。衣服はこれまで、いつどこに着てゆくか、そこは誰がいる場所であるか、などにより細やかに分類されてきた。本展では当館が収蔵する衣装作品を通して、改めて、フォーマル、カジュアル、という装いの質の違いについて考察した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、ストール	1938年	サーキュラー・スカートワンピース・ドレス。黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフを刺しゅう。	島根県立石見美術館
2	マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ピンクのシルク・シフォン地のスカートに、レースのトップがついたオーバードレス。シフォンと絹地のアンダードレス。	島根県立石見美術館
3	クリスチャン・ディオール	ボール・ガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
4	クリスチャン・ディオール ／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹のロング・ドレス。右前見頃がストール風になったショート・ジャケット。	島根県立石見美術館
5	イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。	島根県立石見美術館
6	ヴィヴィアン・ウエストウッド	「18世紀スタイル」 イヴニング・ドレス	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。	島根県立石見美術館
7	森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色絹ベルベットのワンピースドレス	島根県立石見美術館
8	森 英恵	白、グレー、黒の水玉を縫いとったイヴニング・ドレス	1999年	明るいグレーの絹シフォンに、白、グレー、黒の変わり水玉を刺しゅうしたロング・ドレス	島根県立石見美術館
9		ブレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
10		テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。	島根県立石見美術館
11	作者不詳	ビーチ・アンサンブル	1910～20年代	白色のシルクボンジー。袖無しのボティス、パンツ。	島根県立石見美術館
12	マリア・モチナ・ガレンガ	ティー・ガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワークされている。	島根県立石見美術館
13	リバティ商会	ティー・ガウン	1908頃	ブルーグレーの絹クレープ。襟に中国風の刺繍。胸あて。裾はわずかにトレーンを引く。着物風の長く垂れる袖。タッセル付き	島根県立石見美術館
14	BIBA	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット	島根県立石見美術館
15	作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパードレス」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。	島根県立石見美術館
16	森 英恵	デイ・ドレス	1969～70年代	マンダリン・オレンジに波柄をプリントしたジャージーのミニ・ドレス。バンロン・コレクション。	島根県立石見美術館
17	森 英恵	デイ・ドレス	1969～70年代	黄緑に竹と梅柄をプリントしたジャージーのミニ・ドレス。バンロン・コレクション。	島根県立石見美術館
18	森 英恵	デイ・ドレス	1969～70年代	紫地に岩と流水柄をプリントしたジャージーのミニ・ドレス。バンロン・コレクション	島根県立石見美術館

展示室C つらなり、かさなり

会 期：令和3年8月26日(水)～11月7日(日)

内 容：抽象絵画、抽象彫刻を中心に、繰り返しや重ね合わせの形が現れている作品を展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
2	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
3	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
4	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
5	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
6	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
7	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
8	草間 彌生	ジェネシス	1992～93年	ミクストメディア	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	そりのあるかたち03	2003年	樺、檜、ステンレス	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	そりのあるかたち3	1999年	樺、黒檀	島根県立石見美術館
11	殿敷 侃	新聞	1981年	シルクスクリーン、新聞紙	島根県立石見美術館
12	殿敷 侃	不明(新聞)	1981年	シルクスクリーン、新聞紙	島根県立石見美術館
13	野村 康生	Noctis Labyrinthus (夜の迷宮)	2017年	アクリル・シリコン・マーカー・グリッター・ウレタン、パネル 3点	島根県立石見美術館
14	堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、キャンバス	島根県立石見美術館

関連事業

MUSEUM×THATER：ミュージア vol.16 伊藤志宏ソロピアノコンサート「画堂にて奏でる」

日時：10月2日(土) 昼の部：15時～、夜の部：18時～

会場：展示室C

展示室内で、ピアニスト・伊藤志宏によるソロコンサートを開催。本公演のために描き下されたオリジナル曲を含め、各回約60分の演奏となった。

※詳細は「ミュージア(31ページ)」に記載

展示室C 「美人」をうつす

会 期：令和3年11月18日(木)～令和4年1月10日(月)

内 容：企画展「美男におわす」にあわせ、同展の出品作と対照できる江戸時代から近代までの女性像を展示。絵画のモチーフにおける男女の差異について考える機会とした。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岩佐派	遊楽美人図	江戸時代初期	紙本着色、対幅	島根県立石見美術館
2	筆者不詳	遊女柳橋扇面流図屏風	江戸時代初期	紙本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
3	松浦 舞雪	長夜のすざび	大正～昭和時代初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
4	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
5	山田 喜作	湘南初夏	昭和3年(1928)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
6	山田 喜作	真夏の港	昭和6年(1931)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
7	北野 恒富	むすめ	大正14年(1925)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
8	広田 多津	ふたり	昭和13年(1938)	紙本着色、額	島根県立石見美術館
9	菊池 隆志	初夏遊園	昭和3年(1928)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
10	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	児島 善三郎	椅子による	大正14～昭和3年 (1925～1928)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	小早川 清	宵	昭和11年(1936)	絹本着色、額	島根県立石見美術館

展示室C 木の表情

会 期：令和4年1月13日(水)～3月7日(月)

内 容：森林に恵まれた日本では、人々ははるか昔から木に親しみ、それを暮らしに生かしてきた。美術の領域でも、木を用いた造形表現は数多くみられる。ここでは木を制作に用いた木版画や、彫刻家、澄川喜一の木を素材とした彫刻等を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
2	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	島根県立石見美術館
3	米原 雲海	仙丹	1910年	木	島根県立石見美術館
4	内藤 伸	豊公	1918年	木	島根県立石見美術館
5	藪内 佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	SHIRUBE	1974年	樟	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	種	1982年	樺、樟	島根県立石見美術館
8	澄川 喜一	木滴	1998年	杉、槐	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	翼3	1999年	樺、樟	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	そりのあるかたち 2000	2000年	樺、チーク	島根県立石見美術館
11	澄川 喜一	そりのあるかたち 01-2	2001年	樺、松、チーク	島根県立石見美術館
12	澄川 喜一	そりのあるかたち 02-4	2002年	松	島根県立石見美術館
13	澄川 喜一	そりのあるかたち O	2007年	神代樺、樺	島根県立石見美術館
14	澄川 喜一	そりのあるかたち C	2012年	神代樺	島根県立石見美術館
15	澄川 喜一	そりのあるかたち D	2012年	神代樺、樺	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報1月18日 展覧会紹介記事

毎日新聞1月23日 展覧会紹介記事

展示室C 宮芳平の詩と芸術

会 期：令和4年3月12日(土)～4月25日(月)

内 容：宮芳平は諏訪で美術教師をしながら油彩画を描く一方、銅版画も数多く制作した。小さな版画には芳平独自の詩情あふれる世界観が詰まっている。本展では宮芳平の言葉を一部紹介しながら、銅版画を中心に展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	原田 直次郎	男児肖像	1887～1898年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	島根県立石見美術館
3	和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	風景	1912～1925年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
7	宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
8	宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
9	宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
10	宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
11	宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
13	宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
20	宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
21	宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
22	宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
23	宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
24	宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
25	宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
26	宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
27	宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
28	宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
29	宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
30	宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
31	宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
32	宮 芳平	もろこしとトマト	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
33	宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
34	宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
35	宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
36	宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
37	宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
38	宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報3月19日 展覧会紹介記事

第39回 益田市美術展

会 期：令和4年2月17日(木)～2月20日(日)

会 場：展示室D

主 催：益田市美術展実行委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

全島根小中学校図画作品展益田展(グラントワ展)

会 期：令和4年2月26日(土)～2月28日(月)

会 場：展示室D

主 催：島根県造形教育研究会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第20回記念益田書道展

会 期：令和4年3月4日(金)～3月6日(日)

会 場：展示室D

主 催：益田市書道会

第54回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：令和4年3月10日(木)～3月13日(日)

会 場：展示室D

主 催：島根県高等学校文化連盟

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年2月3日(木)からの開催を上記会期に延期



チラシ

ミュージア

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を構成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater：ミュージア」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

令和3年度の事業としては、以下の2つを企画した。

MUSEUM×THATER：ミュージアvol.15

「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.9 —夢声と非水の時代—」

企画展「杉浦非水」の関連プログラムとして、また徳川夢声没後50年企画「活動弁士と素晴らしき話芸の世界」の1日目として開催。無声映画や絵画作品に弁士の説明と書き下ろしの音楽をつけるライブイベント「名画をいろいろ話芸と音楽」第9弾の約5年ぶりの上演となった。

益田市出身の徳川夢声と杉浦非水が同時代の人物であることに注目し、前半では無声映画、後半では非水作のポスターや双六をモチーフとした音楽と語りのパフォーマンスを繰り広げた。とりあげた非水の作品は、《露兵の漂着の実況(一)》(『軍国画報』第二年第八号)、ポスター《三越呉服店(エンゼル)》、《少年世界 競争双六》、ポスター《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》と、多岐に渡った。ステージの演目となることで作品の細部にまで注目し、また制作時の時代背景に触れる機会となる。同じメンバーで展示室内や劇場、学校など様々な場所で公演を重ねてきたことで、教育普及プログラムとしてもエンターテインメントとしても完成度が高まってきている。



「名画をいろいろ話芸と音楽」1

日 時：令和3年8月21日(土) 18時30分～

会 場：小ホール

出 演：坂本 頼光(活動写真弁士)、鈴木 広志(サクソ)、大口 俊輔(ピアノ)、小林 武文(パーカッション)

参加者：100名

新聞掲載

中国新聞8月26日 関連プログラム取材記事



「名画をいろいろ話芸と音楽」2



チラシ

MUSEUM×THATER：ミュージアvol.16 伊藤志宏ソロピアノコンサート「画堂にて奏でる」

コレクション展「つらなり、かさなり」の会場で実施。オリジナル曲やジャズを中心に活躍し、文学的で陰影のある演奏から「奇才」と称されるピアニスト、伊藤志宏を迎えたコンサート。自然光が降り注ぎ、天井が高く独特の音響をもつ「展示室C」に、スタインウェイのフルコンサートピアノを運び入れ演奏会を行った。益田の海や山をテーマにした新曲から始まる即興演奏が、草間彌生や澄川喜一らの作品に囲まれた空間に響く、特別なひと時となった。

日 時：令和3年10月2日(土) 昼の部：15時～、夜の部：18時～

会 場：展示室C

出 演：伊藤 志宏(ピアノ)

参加者：昼の部=31名、夜の部=30名

1年間限定公開のコンサート動画の視聴回数：1013回(令和3年12月20日～令和4年12月19日)

新聞掲載

いわみりびえーる9月26日 イベント告知記事



「画堂にて奏でる」



「画堂にて奏でる」

【講座・講演など】

東方学院松江校・中村元記念館文化講座「入門 日本の仏像」

日 時：令和3年5月14日(金)、6月11日(金)、7月9日(金)、10月8日(金)、
11月12日(金)、12月10日(日)10:30～12:00

講 師：的野 克之

会 場：中村元記念館 講義室

参 加 者：各回10名

日本遺産講座「中世益田にゆかりの文化財」

日 時：令和3年9月26日(日)10:00～11:30

講 師：角野 広海

会 場：グラントワ多目的ギャラリー

参 加 者：50名

島根県立益田養護学校高等部農産加工班
作業学習「デザインとラベルの役割」

日 時：令和3年10月5日(火)10:00～12:00

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立益田養護学校 パソコン室

参 加 者：高等部加工班 生徒5名、教員4名

お茶の水女子大学人間生活学科1年生向けの後期・必修授業「服飾文化概論」

日 時：令和3年10月29日(金)13:20～14:50

講 師：廣田 理紗

会 場：お茶の水女子大学(オンラインによる開催)

視聴者数：学生30名

特別講義「日本美術史における男性表現の歴史」

日 時：令和4年1月20日(木)10:00～12:30

講 師：川西 由里

会 場：広島市立大学大講堂(オンラインによる開催)

マイクロ・シンポジウム「アニメ中間素材が引き起こす新たな創造」および事前研究会

日 時：令和4年2月20日(土)18:00～19:00

令和4年3月5日(土)、6日(日)18:00～21:00

講 師：川西 由里

オンラインによる開催

聴講者数：80名

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 鑑賞：「ファッションを伝える、拡げる」と講義：「石見美術館の概要」

日 時：令和3年9月24日(金)14:50～16:20

講 師：南目 美輝、廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 展示室A、講義室

第2回 講義：「石見美術館のファッションコレクション」

日 時：令和3年10月6日(水)14:50～16:20

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立石見高等看護学院

第3回 鑑賞：「河井寛次郎と島根の民藝」

日 時：令和3年10月21日(木)14:50～16:20

講 師：角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室D

第4回 講義：「美術館と地域のかかわり」

日 時：令和3年10月29日(金)14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見高等看護学院

第5回 鑑賞：「雲谷派」と講義：「石見の美術」

日 時：令和3年12月3日(金)14:50～16:20

講 師：角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室A、講義室

第6回 講義：「造形とは何か」

日 時：令和3年12月10日(金)14:50～16:20

講 師：左近充 直美

会 場：島根県立石見高等看護学院

第7回 鑑賞：「美男におわす」と『美人』をうつす」

日 時：令和3年12月17日(金)13:10～15:35(休憩含)

講 師：左近充 直美、川西 由里

会 場：島根県立石見美術館 展示室D

【博物館実習】

日 時：令和3年8月23日(月)～8月27日(金)

参 加 者：お茶の水女子大学学生(1名)

【その他】**令和3年度島根県障がい者アート作品展WEB展2021審査会における審査**

日 時：令和3年11月16日(火)13:00～16:00

審 査 員：川西 由里

会 場：島根県職員会館 特別教養室(オンラインにて参加)

島根県ふるさと伝統工芸品振興委員会委員の就任

委 員：南目 美輝

任 期：2年

松江市文化財保護審議会委員の就任

委 員：的野 克之

任 期：2年

出雲市文化財保護審議会委員の就任

委 員：的野 克之

任 期：2年

新聞・雑誌への寄稿

令和3年度 朝日新聞『石見美術館収蔵から 美ありて』連載

- 5月11日 南目 美輝 バーバラ・フラニッキ《パンツ・スーツ》
6月12日 的野 克之 富春《根付「蓮葉に蓑亀」》
7月17日 川西 由里 竹内栖鳳《藤花薔花群犬図》
9月11日 廣田 理紗 イヴ・サンローラン《ディナー・ドレス》
10月16日 角野 広海 中林竹溪《秋草群雀図》
11月20日 南目 美輝 ジョルジュ・ルパップ《急ごしらえのキャディ ジャンヌ・ランパンのゴルフウェアと少女服》
1月15日 的野 克之 澄川喜一《SHIRUBE》
3月 5日 川西 由里 ガブリエル・フォン・マックス《煙を出す壺を抱く女性》

その他寄稿

- 季刊誌『tattva』vol.2 7月10日 川西 由里 「トリメガ研究所は語る」 鼎談連載
季刊誌『tattva』vol.3 10月10日 川西 由里 「トリメガ研究所は語る」 鼎談連載
『版画芸術』No.194 12月1日 川西 由里 「今、美人を描くということ」
季刊誌『tattva』vol.4 1月10日 川西 由里 「トリメガ研究所は語る」 鼎談連載

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00~12:00)と午後(13:00~15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動なし

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

活動記録

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動なし

島根県立石見美術館 入館料・割引サービス一覧

※2020年8月20日現在

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携館

いわみ美術回廊 加盟館

浜田市立石正美術館	左記施設の 会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
浜田市世界こども美術館		観覧券の半券	
益田市立雪舟の郷記念館			
津和野町立安野光雅美術館			
今井美術館			

山口県立美術館	会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
山口県立萩美術館・浦上記念館		<small>※2021年4月1日以降は会員証のみ</small>	
サントリー美術館	左記施設の 会員様	会員証	
DIC川村記念美術館			
植田正治写真美術館			
足立美術館			
尾道市立美術館			
ひろしま美術館			
広島県立美術館			
広島市現代美術館			
愛媛県美術館			
島根県立美術館	会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	
島根県立古代出雲歴史博物館		会員証 または 割引券	

劇場連携

グラントワ(いわみ芸術劇場)	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット をお持ちの方	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット <small>※公演当日のみ有効</small>	団体割引 (ご本人のみ)
----------------	---------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	------------------------

外国人割引

外国人の方	外国人の方	パスポート(旅券) または 在留カード	企画展・コレクションセット券 一般 650円/大学生 400円 小中高生 150円 企画展のみ 一般 500円/大学生 300円 小中高生 無料
-------	--------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

★ご提示いただく「会員証」は、有効期限内のものに限ります。

石見美術館の入館料が割引となります。

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携カード／クーポン／パスポート／その他

しまねカード	左記の カード をお持ちの方	カード または WEB画面	団体割引 (人数制限なし)		
しまね子育て応援パスポート COCCOLO		カード	団体割引 (4名様まで)		
ゆめカード					
SDカード					
山陰中央新報さんさんクラブ					
ちゅーピーカード					
やわらぎカード					
萩ファンカード					
E倶楽部(イーカード)					
JAF				カード または WEB画面	
ドゥプレカード				カード	団体割引 (同居ご家族4名様まで)
Reloclub				カード または WEBクーポン	団体割引 (5名様まで)
エルフル	カード または WEB画面	団体割引 (4名様まで)			
石見ぶらり手形	左記の クーポン または パスポート または チケット など をお持ちの方	入場クーポン	企画展・コレクションセット券 500円 ^{※1}		
じゃらん		割引クーポン	団体割引 (4名様まで)		
雪舟さんパスポート		パスポート	団体割引 (ご本人のみ)		
ぶらり中国ドライブパス		申込完了メール(印刷またはWEB画面)	団体割引 (5名様まで)		
おいでませパスポート		パスポート	団体割引 (4名様まで)		
だんだんチケット		無料招待券 ^{※2}	入館無料 (無料招待券1枚につき1名様)		
ミュージアムガイド(書籍)	左記 書籍 をお持ちの方	ミュージアムガイド(書籍)	団体割引 (4名様まで)		
美術検定1級アートナビゲーター	左記 資格 をお持ちの方	認定証	団体割引 (2名様まで)		

※1 大学生・小中高生無料／コレクション展は対象外です。
※2 だんだんチケットに印刷されています。

乗車券・航空券

高速バス 益田⇄大阪／広島	左記の 交通機関 または サービスを ご利用 の方	往復乗車券	団体割引 (ご本人のみ)
JR益田駅⇄島根県東部(大田市以東)		DWパスポート	
DWパスポート(JR西日本)		1日乗車券	
雪舟ライン		航空券 ^{※3}	
萩・石見空港発着便			

※3 往復・片道のいずれの航空券でも可。

提携館にてグラントワ会員証（共通カードまたはミュージアムパスポート）、石見美術館観覧券（半券）をご提示いただくと、提携館の入館料が割引となります。

提携館名	割引対象	
	グラントワ共通カード ミュージアムパスポート	石見美術館観覧券（半券）
いわみ美術回廊 加盟館		
浜田市世界こども美術館	※当面の間割引休止	
津和野町立安野光雅美術館		
浜田市立石正美術館	○	○
益田市立雪舟の郷記念館	○ （会員ご本人のみ）	○
今井美術館		
山口県立美術館		○ （開催中のもの） ※2021年4月1日以降はご利用いただけません。
山口県立萩美術館・浦上記念館	○	
島根県立美術館	○ （会員ご本人のみ）	
サントリー美術館		
DIC川村記念美術館	※当面の間割引休止	
植田正治写真美術館		
足立美術館		
島根県立古代出雲歴史博物館		—
尾道市立美術館		
ひろしま美術館	○ （会員ご本人のみ）	
広島県立美術館		
広島市現代美術館		
愛媛県美術館		

※各施設により割引率や条件等が異なります。詳しくは、それぞれの施設まで直接お問い合わせください。

【いわみ美術回廊】

平成14年4月1日いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館

(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉圃	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷派	四季山水図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～92年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鐔木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	絹本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	あそび	明治末～大正初期頃	絹本着色 軸	108.2×39.4
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本著色 軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
小林 竹洞	湖山清遠図	1834～37年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
小林 竹洞	秋丹鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
小林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～25年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松浦 舞雪	長夜のすざび	大正末～昭和初期頃	絹本着色 軸	132.6×57.6
松林 桂月	菊花双鶏図	1922年	絹本着色、一幅	150.1×42.3
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 琴谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 琴谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 琴谷	遊魚図	1846年	絹本着色、一幅	129.6×57.9
山本 琴谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 華山	龍虎図屏風	江戸時代後期 19世紀初め	紙本墨画、六曲一双	各143.5×328.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
伝 大下 藤次郎	伝大下巳之吉肖像	制作年不詳	油彩、カンヴァス	47.0×35.0
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	71.5×115.5
喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	111.0×161.0
喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	95.7×144.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
野村 康生	"Noctis Labyrinthus(夜の迷宮)"No.04、No.08、No.09	2017(平成29)年	アクリル、シリコン、マーカー・グリッター、ウレタン・パネル	(各)159.7×98.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912~25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911~20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末~20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920~22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
饗 嘯	鳳凰I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻-早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED: 1/30	14.5×24.4
殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED: 19/40	4.2×4.4
殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED: 8/20	4.8×8.8
殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED: 42/45	19.2×14.2
殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリーン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリーン、新聞紙	163.3×81.2×3.0
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充3ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892~93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウイーン工房(フレーグル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン=エミール・ラブレル	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン=エミール・ラブレル	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルバープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル=アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナル	雑誌『ルヴェグ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレネー・シャシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレネー・シャシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュルドウイ』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~97年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模 (AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~11年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~11年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~11年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~11年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~11年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~11年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~11年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~11年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~11年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~11年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~11年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~11年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～11年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～11年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～11年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～11年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～11年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～11年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～11年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
喜多村 知	津和野町雪景色(B)	1946年頃	水彩、紙	33.0×48.0
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912~29年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926~45年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて① (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6× 16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて② (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3× 15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③ (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4× 17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~97年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松江 泰治	JP-32 02	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 04	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 05	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 07	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 09	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 16	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリュメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイロード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイ ラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨソカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスターゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バ ザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』 1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暲	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・べっ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒェ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
澄川 喜一	S君	1959年	ブロンズ	33.0×20.0×27.0
澄川 喜一	裸婦	1958年頃	ブロンズ	46.0×11.0×11.5
澄川 喜一	Kさん	1960年	ブロンズ	36.0×23.0×36.0
澄川 喜一	SHIRUBE	1974年	樟	146.5×64.0×58.0
澄川 喜一	マジック・ボックス	1975年	御影石、樺、杉	63.0×28.3×15.0
澄川 喜一	無題[スポーツ功労者顕彰 記念像]	1978年	ブロンズ	51.0×13.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1979年	樺、カラントス	127.5×74.5×16.0
澄川 喜一	種	1982年	樺、樟	33.0×23.0×8.5
澄川 喜一	MASK	1982年	樟、カラントス	60.5×42.0×35.0
澄川 喜一	フェニックスの翼 A	1982年	ブロンズ	165.0×56.0×30.0
澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち 83	1983年	樺、松	240.0×160.0×105.0
澄川 喜一	MASK	1985年	樟	41.0×42.5×27.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1985年	樺	77.0×87.0×23.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 86	1986年	松、樺、鉄板	300.0×90.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたちD	1987年	樺、松、鉄板	233.0×325.0×30.0
澄川 喜一	TO THE SKY C	1992年	ステンレス、黒御影石	230.0×65.0×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち95	1995年	樺	240.0×62.0×57.0
澄川 喜一	お月さま	1995年	樺、チーク	236.0×139.0×35.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1995年	黒御影石、金箔	16.0×70.0×22.0
澄川 喜一	ほしあかり	1995年	黒御影石、金箔	82.0×32.0×24.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1996年	ブロンズ	83.5×114.5×10.8
澄川 喜一	そりのあるかたち 97-3	1997年	樺、一位、ステンレス	205.0×200.0×37.0
澄川 喜一	木滴	1998年	杉、槐	36.0×26.0×17.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 4	1999年	樺	236.0×54.0×37.0
澄川 喜一	翼 3	1999年	樺、樟	42.0×68.0×17.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 99	1999年	樺	278.0×159.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 3	1999年	樺、黒壇	118.0×10.0×9.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 5	1999年	樺	124.5×38.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 7	1999年	樺	71.0×60.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち A	1999年	樺、カラントス	205.0×230.0×53.0
澄川 喜一	そりのあるかたち B	1999年	樺	93.5×112.0×13.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 2000	2000年	樺、チーク	268.0×97.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 01-2	2001年	樺、松、チーク	345.0×120.0×80.0
澄川 喜一	風	2001年	黒御影石	150.0×26.8×41.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 01-1	2001年	樺、チーク、松、鉄板	310.0×130.0×30.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-4	2002年	松	232.0×93.0×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-1	2002年	樺	205.0×193.0×60.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-3	2002年	樺、檜	280.0×116.0×41.0
澄川 喜一	そりのあるかたち G	2002年	樺	99.0×19.0×31.5
澄川 喜一	太陽	2002年	赤御影石	46.0×28.0×19.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 03	2003年	樺、檜、ステンレス	310.0×90.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 04	2004年	樺、ステンレス	250.0×180.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2004年	神代樺、樺、ステンレス	88.0×82.0×19.0
澄川 喜一	そりのあるかたち d	2005年	ステンレス	78.0×87.0×17.0
澄川 喜一	翔 II	2005年	神代樺、ステンレス	43.0×61.0×35.0
澄川 喜一	瀧	2005年	杉、樺	122.0×19.0×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 05	2005年	神代樺、樺、檜	240.0×172.0×42.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 06	2006年	神代樺、樺、ステンレス	197.0×180.0×70.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、檜	102.0×30.0×20.0
澄川 喜一	木霊 A	2007年	檜、樟	127.0×31.0×30.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	神代樺、樺	211.0×65.0×27.0
澄川 喜一	そりのあるかたち O	2007年	神代樺、樺	90.5×10.5×10.2
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、杉	208.0×205.0×46.0
澄川 喜一	木霊	2007年	檜、樺	170.0×24.0×24.0
澄川 喜一	木の華	2007年	杉、樺、カラントス	88.0×28.0×24.5
澄川 喜一	MASK	2007年	チーク、樺	56.0×21.0×15.8
澄川 喜一	そりのあるかたち 15	2007年	栗、槐、榎、樺	97.5×24.0×14.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 18	2007年	樺	113.0×13.0×10.5
澄川 喜一	そりのあるかたち A	2008年	樺	137.0×30.0×22.0
澄川 喜一	木霊 B	2008年	檜、カラントス	112.0×30.0×18.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2008	2008年	神代樺、樺、檜	190.0×162.0×52.0
澄川 喜一	そりのあるかたち N	2008年	栗、榎、槐	44.0×79.0×12.0
澄川 喜一	翔 A	2008年	神代樺、ステンレス	137.0×70.0×40.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2009	2009年	神代樺、樺	228.0×118.0×53.0
澄川 喜一	矢羽根 I	2010年	神代樺、樺	219.0×55.5×26.3
澄川 喜一	そりのあるかたち 2010	2010年	樺	212.5×167.0×39.0
澄川 喜一	そりのあるかたち a	2010年	樺	179.0×161.5×38.5
澄川 喜一	そりのあるかたち f	2010年	樺	107.0×106.0×29.0
澄川 喜一	そりのあるかたち A	2011年	樺	213.0×129.0×30.0
澄川 喜一	TOWER	2012年	樺	111.0×21.0×22.0
澄川 喜一	そりのあるかたち C	2012年	神代樺	156.5×34.5×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち D	2012年	神代樺、樺	179.0×111.0×37.5
澄川 喜一	そりのあるかたち F	2012年	樺、桂	43.0×129.0×15.5
澄川 喜一	そりのあるかたち B	2012年	樺	227.0×52.5×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2012	2012年	樺	233.5×100.0×54.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2013年	樺	84.0×15.0×14.5
澄川 喜一	TO THE SKY III	2015年	樺	65.5×15.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	黒壇、樺	30.5×10.5×5.5
澄川 喜一	そりのあるかたち n	2015年	ローズウッド、樺	32.0×12.2×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち f	2015年	白檀、樺	7.5×44.0×8.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	神代樺、樺	26.0×44.5×8.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2017年	樺	216.0×58.0×45.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2018年	杉	215.0×85.0×50.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	槐、樺、神代樺	210.0×48.5×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	48.0×19.0×7.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樟	47.0×18.0×9.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	26.5×52.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺、カラントス	210.0×64.0×50.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺	高203.0
澄川 喜一	そりのあるかたち Y	制作年不詳	樺	117.0×25.0×24.0
澄川 喜一	SCULL	制作年不詳	カラントス	パーツが4つに分かれる/ 1パーツ高 約70~80
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、カラントス	63.0×21.0×57.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳(初期)	樺	高 約80.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、松	高 約180.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、杉	67.0×125.0×32.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不可思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
川久保 玲 / COMME des GARÇONS	トップ	1996年 / 1997年 春夏	赤いギンガムチェックプリント 左脇や後ろ肩に変形のあるタイト フィットの半袖Tシャツ ナイロン70% ポリウレタン30%
川久保 玲 / COMME des GARÇONS	スカート	1996年 / 1997年 春夏	ピンク色のギンガムチェックプリント ゴムで所々シャーリングを 寄せたタイトフィットのロングスカート 右前に変形あり コットン 100% 白の平ゴム
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート ドレスは、帯地と絹サテン

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット シルクサテンのドレス ドレスの背には大きなりボン飾り
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン 絹サテンのベルト
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート 赤と白の絹サテンのロングドレス 赤い絹サテンのベルト付
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット 金色の糸で手編みしたドレス
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント ワンピース・ドレス
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 同柄の絹シフォンのストール
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 ネックにビーズ刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピースドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピースドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット 黒色ウールのタイトスカート
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピースドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ 腰に濃紺のブレードでベルト飾り
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り ストール付き 同素材のタイトスカート
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン 同素材でできたベア・トップのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピースドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピースドレス
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート 同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュ地にりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス マーメイドライン、ノースリーブ スパンゲルによる刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「ブリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にブリーツ飾り 飾りピン付き 白いウールのアコーディオンブリーツのスカート
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル 緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート 襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍
森 英恵	カクテルドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス 胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ
森 英恵	カクテルドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス 同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス 腰にモザイク状のベルト飾り
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス 裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のジャケットとスカート
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	紺のウールのジャケットとスカート ベルト付き
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	黒のウールのジャケットとスカート
アズディン・アラリア	コート	1980年代	黒のウールのコート
アズディン・アラリア	ジャケット	1980年代	黒のレザーのバイカージャケット
アズディン・アラリア	デイ・ドレス	1980年代	黒のレザードレス

作家名	作品名	制作年	材質
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のスーツ
アズディン・アラリア	デイ・ドレス	1980年代	ダークデニムのジッパースカート
アズディン・アラリア	ドレス	1980年代	ディープ V フードレーブバックレスガウン
アズディン・アラリア	ジャケット	1980年代	ブラウンのレザー・ジャケット
アズディン・アラリア	ドレス	1980年代	生成りのシャツ・ドレス バックレス
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	グレーのウールのスーツ
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス 細かくたたまれたプリーツ
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス 裏地はクリーム色の絹
アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	1968年	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピース・ドレス、絹サテン地でパイピング
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール マンダリン・カラー 茶革のトリミング、折り返しのあるカフス
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス 裏地は白い絹
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～70年	フェイクのエナメル(ビニール製) 丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～68年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍 スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地 Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材 共布のショール付き
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス 皮のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ チェックの綿のシャツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシースドレス スカラップ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシースドレス サブリナ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシースドレス ラウンド・ネック 長袖
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス ショッキングピンクのアンダー・ドレス
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡 幾何学模様 ホルターネックブラ
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク 衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク) 肩にプラスチック・ジップ
エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスバンデックス ボーン入り
ガブリエル・シャネル	ドレス、カーディガン	1920年代	ピンクベージュと黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたノースリーブ・ドレス 黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたカーディガン 襟ぐりから前見ごろ 裾と袖口にシルバーのビーズでパイピング
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス サテン地のリボン
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス バイアスカット 黒の絹のスリッパ
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス 植物のモチーフをビーズ刺繍
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス 襟元にポー飾り 背面にバスル風形状の飾り 共布のストールと靴
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール 厚みのある開襟カラー ジャケットに飾りポケット 巻きスカート
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス 裏地はピンクの絹オガンザ 内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット 巻きスカート、シース型のアンダー・スカート付
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地 大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ 後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り 両脇にポケット 背中中央にボックスプリーツ 裏地はグレーの絹
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ ウエストにベルト
クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ 七分丈のラグラン・スリーヴ 幅広の帯風のベルト ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター スカートにはチュール地の3段のベチコート

作家名	作品名	制作年	材質
クリスチャン・ディオール／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ビーコック・ブルーの絹 裏地は青の絹オーガンザ 七分丈スリーヴ 左右が不均等なボレロ風ジャケット
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～51年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート ジャケットは肩幅の狭いシルエット ベルト付き ビーズ付き濃紺の靴
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン トラペーズラインのドレス
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスワンクル、人造宝石の刺繍
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス マンダリンカラー 袖には金色に着色した木製釦 アンダースカート付
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドール・ドレス」 黒の絹のスリッパ・ドレス
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」 絹シフォンのアンダー・ドレス付
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムパンツ
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツープース・ドレス 金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン 雲のデザインの薄い青色のトレーン
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス ボディとスカート上部に金銀のスワンクルなどによる刺繍
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス 袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク バイアスカット
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール 肩パッド付きのジャケット スリットのあるタイト・スカート
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の菌型コート 椰子の葉と花々を織り込んだテキスタイル 黒の毛皮のトリミング 裏地は黒のベルベット
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～05年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている S字ライン
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～20年	絹 チュールにアップリケ
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ スカートにくるみ釦、ファスナー
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹 開襟カラー 両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット 前面にくるみ釦 クリノリン型のスカート チュール・ネットの下着付き
ハーバート・レヴィン	靴「カプキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色にペイント
バーバラ・フラニッキー／ピバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
バーバラ・フラニッキー／ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テーラードジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
パコ・ラバナ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地 後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き チュール地とホース・ヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き
ピバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル プラスティック製のシダのモチーフのデコレーション
ポール・ボワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン地 銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスワンクルで刺繍 裏地はライム・グリーン地の絹シフォン
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス 前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー ボディとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント 裏地の裾に黒色の絹ベルベット
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地 Aライン、ラグランスリーヴ、丸襟、骨のボタン
ポール・ボワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント Vネックの襟元、ロウ・ウエスト
ポール・ボワレ	デイ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍 袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き

作家名	作品名	制作年	材質
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント ウエストに二つのポケット 黒の絹の縁
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント 襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン 伸縮性のある袖口 2つのポケット
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント 濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟袖も青の絹で縁取り
マドレーヌ・ヴィオネ	デイドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス ポートネック、ラグラン・スリーヴ、プリーツスカート
マドレーヌ・ヴィオネ	デイドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ ワンピース・ドレス バイアス・カット
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス サークュラー・スカート ホルター・ネック 黒い絹サテンのアンダー・ドレス付 黒いチュールのストール
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーヴス、肩にヴェネツィアンビーズ ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント 金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング 錆赤のロングタイ 絹のライニング
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ 金色のステンシル・ワーク 脇、裾にトンボ玉付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ 背中に深いVカット ラグラン・スリーヴ
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット ライニングは絹のシルバー・ラメ フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ 茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング 襟に中国風刺繍
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング
ルディ・ガンライヒ	ミニドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	ミニドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール ボタン付きベルト
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール ボタン付きベルト
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹 シダ植物と花の模様が交差するパターン 襟元と袖に毛皮 袖はカフタン風 裏地はベージュの絹ベルベット
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーバードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～20年代	白色の絹ボンジー 袖無しのボディス、パンツ
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンとブルーのウール ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール ジャケット、ジョッパーズのパンツ
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール ジャケット、ブルマー、カラー ルースなブラウス風のボディス、セラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー
作者不詳	水浴着	1905～10年頃	濃紺のウール 上着、ブルマー、スカート
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット 右肩に釦ファスナー
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント ジャケット、パンツ
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿 Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ
作者不詳	イブニング・シューズ	1920年代	革 Tストラップ ビーズとスパンゲルで刺繍
作者不詳	手袋	1920年代	革 チェーンステッチによる刺しゅう
作者不詳	ネックレス	1920年代	パール 象の彫刻がされた石
作者不詳	イブニング・バッグ	1920年代	炎のような図柄にビーズ編み
作者不詳	ヘッド・ドレス	1920年代	金糸にクリスタルビーズを配した帽子型
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク 両端にタッスルの飾り

作家名	作品名	制作年	材質
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンゴム製 銀色にペイントされた羽根模様
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀
作者不詳	アフタヌーンドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	子ども用ドレス	1850～60年	綿 カットワーク刺しゅう
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス 全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅうレースの飾り 両脇に大きな飾りポケット 背中に貝ボタンの装飾
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス 前身頃に細かな装飾 襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り 後方に大きなボウ飾り
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年(1890)頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス 高い位置にウエストライン 大きくふくらんだ袖 全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾 付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン(横畝のある平織地)の絹の帽子
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年(1880～90)頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用 襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう
作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年(1880)頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス ピンク色の絹ファイユの胸当て セーラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾 七宝のボタン フランス製 "Au Printemps Paris"とラベルあり
作者不詳	男児服	明治10～23年(1870年代後半～80年代)	青色のウールのジャケット 飾りボタンの装飾 赤いシルクのライニング フランス製 "AU LOUVRE PARIS RAYON 53"とラベルあり
作者不詳	敷布	昭和初期	手績みの藤糸を経糸と緯糸に使い平織
宮崎 マセ	敷布	1983～90年	手績みの葛糸を経糸と緯糸に使い平織
草間 彌生	アヴァンギャルドファッション	1968年(1998年再制作)	

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～28年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～30年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～28年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～30年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポージェ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

作家資料

作家名			技法、素材
大下 藤次郎	作家資料一式	模写、日記、手記、筆写・翻訳、記録、書簡、出版物、その他資料、遺品など	
澄川 喜一	ブロンズ像の石膏原型(3点)	制作年不詳	石膏
澄川 喜一	Kさんの石膏原型	1960年	石膏
澄川 喜一	噴水(うごく城)(山口県山口市・亀山公園)モニュメントの石膏原型	1989年頃	石膏
澄川 喜一	横浜みなとみらい線馬車道駅モニュメント「金波・銀波」のマケット	2004年頃	ステンレス、金箔
澄川 喜一	肖像彫刻の石膏原型(4点)	制作年不詳	石膏
澄川 喜一	大分空港モニュメント「TO THE SKY」のマケット	1993年	金属
澄川 喜一	作家資料一式(R2年度寄贈分)	スケッチブック、原稿、メモ、モニュメントスケッチなど	

令和3年度 新収蔵作品一覧

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
1	写真	松江 泰治	JP-32 / IZO (34点)	2022年(令和4)/ 2021年(令和3)	発色現像方式印画	(各)44.8×56.0

寄贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	日本画	三浦 紫暁	孔雀図	1833年(天保3)	紙本着色 六曲屏風一隻	175.0×350.0程度
2	日本画	斎川 芳暁	墨竹図	1878年(明治11)	紙本墨画 一幅	130.0×60.0程度
3	日本画	斎川 芳暁	墨梅図	江戸時代末期～明治時代初期 (19世紀)	紙本墨画 一幅	130.0×60.0程度
4	日本画	荒木 寛友	李白詩吟図	明治時代～大正時代	絹本着色 一幅	130.0×60.0程度
5	油彩画	寺戸 恒晴	石見・三隅港	1987年(昭和62)	油彩、カンヴァス、額装	129.0×161.5
6	油彩画	寺戸 恒晴	武蔵野風景	1950～60年代(昭和20年代後半～昭和40年代前半)	油彩、カンヴァス、額装	33.0×44.5
7	油彩画	寺戸 恒晴	大山・中海の朝	1988年(昭和63)	油彩、カンヴァス、額装	59.0×71.5
8	素描・ 下絵等	寺戸 恒晴	石見神楽 蛇頭	1970～80年代(昭和40年代後半～昭和60年代前半)	パルテル、紙、額装	31.0×41.0
9	素描・ 下絵等	寺戸 恒晴	出雲 小田	1979年(昭和54)	パルテル、紙、額装	30.5×40.5
10	版画	川村 みづえ	ポスター レナウン「イエイエ」	1967年(昭和42)	シルクスクリーン、紙	102.5×72.5
11	彫刻	澄川 喜一	MASK	不詳	金属	高さ33.0
12	彫刻	澄川 喜一	TO THE SKY	2019年(令和元)	樺	高さ75.5
13	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	不詳	金属	高さ15.0
14	彫刻	澄川 喜一	門	2018年(平成30)	樟、樺、杉	高さ79.0
15	彫刻	澄川 喜一	トロフィー	不詳	金属	高さ42.0
16	彫刻	澄川 喜一	トロフィー	不詳	金属	高さ33.5
17	彫刻	澄川 喜一	フェニックスの翼	不詳	金属(ブロンズ)	高さ50.0
18	彫刻	澄川 喜一	観音菩薩立像	不詳	木	高さ10.0
19	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年(令和3)	樺、杉	高さ251.0
20	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年(令和3)	神代樺、杉	高さ160.0
21	彫刻	澄川 喜一	おろち	2021年(令和3)	ステンレス、スチール	高さ27.0
22	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年(令和3)	樺	高さ12.7
23	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年(令和3)	白檀、樺	高さ15.5
24	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年(令和3)	杉	高さ164.5
25	彫刻	澄川 喜一	らふ	2021年(令和3)	樺	高さ31.5
26	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち f	2021年(令和3)	神代樺	高さ108.5
27	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	1998年(平成10)	樺、鉄板	高さ203.0
28	彫刻	澄川 喜一	扉	2020年(令和2)	樺	高さ41.0
29	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2020年(令和2)	樺	高さ55.5
30	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	不詳	木	高さ82.5
31	彫刻	澄川 喜一	しかくいかお	2020年(令和2)	樺	高さ23.0
32	彫刻	澄川 喜一	翼	不詳	木	高さ71.0
33	彫刻	澄川 喜一	おろち	不詳	ステンレス、スチール	高さ50.0
34	彫刻	澄川 喜一	MASK	不詳	カラントス	高さ50.0
35	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2010年(平成22)	杉、樺	高さ212.0
36	資料	澄川 喜一	マケット	不詳	発砲スチロール	高さ44.0
37	資料	澄川 喜一	マケット	不詳	発砲スチロール	高さ36.0
38	資料	澄川 喜一	新宿モノリスビル《TO THE SKY》のマケット	1990年(平成2)	木	高さ51.5
39	資料	澄川 喜一	岡山県井原鉄道井原駅《扇》のマケット	1998年(平成10)	発砲スチロール	高さ13.0
40	資料	澄川 喜一	マケット	不詳	発砲スチロール	高さ40.0

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
41	資料	澄川 喜一	JR釧路駅《光る風》の マケット	1987年(昭和62)	金属	高さ56.0
42	資料	澄川 喜一	マケット	不詳	発砲スチロール	高さ38.0
43	資料	澄川 喜一	マケット	1987年(昭和62)	発砲スチロール	高さ45.0
44	資料	澄川 喜一	NTTドコモ代々木ビル《TO THE SKY》のマケット	2000年(平成12)	金属	高さ14.0
45	資料	澄川 喜一	横浜鴨池橋模型	1991年(平成3)	金属	高さ42.5
46	資料	澄川 喜一	おろち原型	不詳	石膏	高さ26.0
47	資料	澄川 喜一	裸婦像	1955年(昭和30)	テラコッタ	高さ15.8
48	資料	澄川 喜一	少女頭部	不詳	テラコッタ	高さ22.0
49	資料	澄川 喜一	裸婦像	不詳	テラコッタ	高さ23.0
50	資料	澄川 喜一	裸婦像原型	不詳	石膏	高さ41.0
51	資料	澄川 喜一	清瀬けやきホール《清瀬の流 れ》《日・月》の下絵	2010年(平成22)	紙、額装	42.5×58.0
52	資料	澄川 喜一	東京スカイツリー駅《TO THE SKY》の下絵	2012年(平成24)	紙、額装	32.0×88.0
53	資料	澄川 喜一	茶碗・湯呑	不詳	陶器 3口	高さ10.0
54	資料	エミリオ・グレコ	裸婦像(澄川喜一収集作品)	不詳	ブロンズ	高さ58.0
55	資料	白井 雨山	獅子舞(澄川喜一収集作品)	不詳	木	高さ18.0
56	資料	不詳	シールドマシン、カッタービット (澄川喜一作品資料)	1997年(平成9)	金属	高さ13.5
57	資料	不詳	墨壺一式(澄川喜一収集資料)	不詳	木、金属 19点	高さ8.5~35.0
58	資料	不詳	アフリカ仮面(澄川喜一収集資料)	不詳	木	高さ26.5
59	資料	不詳	アフリカ太鼓(澄川喜一収集資料)	不詳	木	高さ66.0
60	資料	不詳	アフリカ仮面(タンザニア・澄 川喜一収集資料)	不詳	木	高さ30.0
61	資料	澄川 喜一	スケッチブッカー式	—		
62	資料	澄川 喜一	原稿・メモー式	—		
63	資料	澄川 喜一	スクラップブッカー式	—		
64	資料	澄川 喜一	モニュメントスケッチー式	—		
65	服飾	伊東 茂平、 伊東 孝	コート(黒グレンチェック)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	黒グレンチェックのウール 裏地 はキャメルのウール	
66	服飾	伊東 茂平	コート(紺チェック)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	紺色チェックのウール	
67	服飾	伊東 茂平	ジャケット、スカート(黒)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	黒色ウール 裏地は化繊	
68	服飾	伊東 茂平	ジャケット、スカート (チャコールグレー)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	チャコールグレーのウール	
69	服飾	伊東 茂平	コート(茶)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	茶色化繊のグログラン	
70	服飾	伊東 茂平	ドレス(黒)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	黒色ウール 襟がストールになっ たデザイン 肩パッド入り	
71	服飾	伊東 茂平	コート(紺)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	紺地に黒色の花をプリントした化 繊のサテン ベルト付	
72	服飾	伊東 茂平	コート(黒とグレー)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	黒とグレーのモヘア ベルト付	
73	服飾	伊東 茂平	ジャケット、パンツ(緑)	1937年(昭和12)	緑色に白いネップのあるウール 肩に深緑色の革のパッチワーク 同じ革のポケット	
74	服飾	伊東 茂平	ジャケット、ドレス(青)	1936年(昭和11)	青色のウール ドレスの胸元に シャーリング 襟とカフに白色 の畝のある生地	
75	服飾	伊東 茂平	コート(黒)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	黒色のウール	
76	服飾	伊東 茂平	ジャケット、スカート(茶)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	茶色のネップ入りウール	
77	服飾	伊東 茂平	ジャケット、スカート(紺)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	紺色梨地織のウール	
78	服飾	伊東 茂平	ドレス(グレー)	1967年(昭和42)	グレーのウール 襟と袖口はピン ク色のウール ピンク色ウールの ハイソックス付	
79	服飾	伊東 茂平	ドレス(紺)	1955~65年頃(昭和30~40年頃)	紺色のウール	
80	服飾	伊東 茂平	ジャケット、スカート、襟巻	1961年(昭和36)	黒と白のウール ジャケットにジッ パー付	
81	資料	伊東 茂平	スクラップブッカー式	1935年頃~1968年(昭和10年 頃~43年)		

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会」展 国立新美術館 令和3年6月9日～9月6日	榎本千花俊《池畔春興》 表紙画：中原淳一《雛の日に》『少女の友』第31巻第3号 表紙画：中原淳一《憩い》『少女の友』第33巻第6号 著：長谷川多津恵／イラスト：中原淳一『婦人標準服の作り方』、編集：伊東茂平『私のきもの』秋の号、『私のきもの』春の号、伊東茂平、伊東孝『私の洋裁教室』、『アメリカン・スタイル全集』第2巻第4号、『アメリカン・スタイル全集』第7集、『装苑』1954年2月号、『装苑』1956年6月号、『装苑』1968年12月号、『装苑』1962年3月号、『装苑』1962年4月号、『それいゆ』no. 48、『美しい暮らしの手帖』創刊号、『服装』1959年1月号、『若い女性』1957年10月号、『MEN'S CLUB』vol.38、『MEN'S CLUB』vol.40、『MEN'S CLUB』vol.41、『MEN'S CLUB』vol.49、『平凡パンチ』第1巻第28号 森英恵《西陣織の帯地のコートとショートドレス》 森英恵《ジャンプスーツとカフタン「菊のバジャマドレス」》 『森英恵流行通信』創刊号、『森英恵流行通信』13号、『森英恵流行通信』29号 『anan』創刊号、『Popeye』創刊号、『Popeye』no.4、『Popeye』no.15、『Popeye』no.32、『Olive』創刊号、『Olive』206号、『Olive』313号、著：林央子、アートディレクション：服部一成『here and there』vol.6、『here and there』vol.9、濱田明日香『かたちの服』
長野県信濃美術館リニューアルオープン記念展「森と水と生きる」展 長野県信濃美術館 令和3年8月28日～11月3日	大下藤次郎《多摩川畔》 大下藤次郎《西山峠》
「上野リチ：ウィーンからきたデザイン・ファンタジー」展 京都国立近代美術館 令和3年11月16日～令和4年1月16日 三菱一号館美術館 令和4年2月18日～5月15日	ダゴベルト・ペヒエ《蓋付きの物入れ》 ダゴベルト・ペヒエ《布地見本：ブンダーバウム》 ダゴベルト・ペヒエ《ブローチ》 ダゴベルト・ペヒエ《ペンダント》 ダゴベルト・ペヒエ《ネックレス》 不詳《バングル》 マリア・リカルツ《バッグ》 マリア・リカルツ《無題》 マリア・リカルツ《無題》 マックス・スニシェク《ドレス[ウィーン工房テキスタイル「バイエル」]》 マックス・スニシェク《ドレス[ウィーン工房テキスタイル「ゼレニカ」]》 上野リチ・リックス《布地見本「クレムリン」》 ウィーン工房(編) マティルデ・フレークルほか(画)『ウィーン・ファッション 1914/15』より12点のうち6点(no.1、no.2、no.5、no.7、no.8、no.12) ロッテ・カルムほか『婦人の生活』(第1号)より20点のうち14点(no.2、no.3、no.6、no.7、no.8、no.9、no.10、no.11、no.13、no.15、no.16、no.17、no.18、no.19)
「杉浦非水 時代をひらくデザイン」展 たばこと塩の博物館 令和3年9月11日～11月14日 三重県立美術館 令和3年11月23日～令和4年1月30日 福岡県立美術館 令和4年4月15日～6月12日	黒田清輝《ホブラの黄葉》 岡田三郎助《黒き帯》 杉浦朝武実写、小林習古写《露兵の漂着の実況(一)》『軍国画報』第2年8号 杉浦朝武実写、小林習古写《露兵の漂着の実況(二)》『軍国画報』第2年8号 『少年世界 競争双六』 『非水百花譜』(大正版) 藤田嗣治《アントワープ港の眺め》 杉浦非水《銅化塗料ノーワン》 杉浦非水《第二次産業組合拡充三ヶ年計画》 杉浦非水《日向の早熟蔬菜と果実》
展覧会「はじまりのかたち 柳原義達・向井良吉・澄川喜一」展 とぎわ湖水ホール 令和4年3月4日～4月10日	澄川喜一スケッチブック 7冊 澄川喜一デッサン 澄川喜一関連資料 一式
企画展示「中世武士団一地域に生きた武家の領主一」展 国立歴史民俗博物館 令和4年3月15日～5月8日	狩野松栄《益田元祥像》 《茶麻地振り織胴服》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ 入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	16,959	2,492	0	0	2,492	637	636	1,899	3,172
5月	13,946	2,470	149	31	2,650	1,893	303	823	3,019
6月	12,469	0	328	0	328	440	385	1,726	2,551
7月	30,013	1,935	1,791	27	3,753	5,559	3,170	5,757	14,486
8月	21,047	1,709	1,463	0	3,172	3,662	779	1,170	5,611
9月	20,069	1,693	1,566	29	3,288	3,855	1,355	1,679	6,889
10月	23,021	2,811	2,277	25	5,113	3,609	1,909	2,417	7,935
11月	14,390	464	693	34	1,191	1,137	10	1,647	2,794
12月	13,657	1,320	1,216	0	2,536			3,302	3,302
1月	8,794	1,122	998	21	2,141			520	520
2月	7,581	0	90	0	90			885	885
3月	13,260	0	407	1,555	1,962			1,279	1,279
合計	195,206	16,016	10,978	1,722	28,716	20,792	8,547	23,104	52,443

※大・小ホール耐震改修工事期間(令和3年12月から令和5年5月)

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	60	290	0	840	268	396	638	2,492
5月	41	327	0	1,219	229	230	424	2,470
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	32	161	0	592	591	335	224	1,935
8月	29	216	0	625	67	362	410	1,709
9月	36	154	0	377	601	305	220	1,693
10月	62	301	0	932	453	390	673	2,811
11月	10	69	0	108	74	73	130	464
12月	42	145	0	403	199	259	272	1,320
1月	22	139	0	305	60	243	353	1,122
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	334	1,802	0	5,401	2,542	2,593	3,344	16,016

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	24	18	5	87	15	149
6月	0	0	52	72	16	177	11	328
7月	32	1	128	463	593	349	225	1,791
8月	29	0	146	447	67	362	412	1,463
9月	36	2	92	247	604	365	220	1,566
10月	62	0	157	479	453	390	736	2,277
11月	10	25	97	160	104	139	158	693
12月	42	0	111	333	199	259	272	1,216
1月	22	1	95	212	60	252	356	998
2月	0	0	26	15	3	44	2	90
3月	0	0	90	77	28	185	27	407
合計	233	29	1,018	2,523	2,132	2,609	2,434	10,978

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会	令和3年3月20日(土・祝)～5月16日(日)	51	6,019
杉浦非水 時代をひらくデザイン	令和3年7月3日(土)～8月30日(月)	51	3,644
河井寛次郎と島根の民藝 手がつくる、親しいかたち	令和3年9月11日(土)～11月1日(月)	45	4,643
美男におわず	令和3年11月27日(土)～令和4年1月24日(月)	46	2,767
合計			17,073

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
966	950	915	882	873	849	859	815	804	800	790	792

収支概要

■収支概要

センター運営費	22,130
指定管理委託料	369,875
企画展事業費	47,478
コレクション展事業費	3,841
調査研究・研修費	2,528
美術作品収集費	0
センター利用促進事業費	1,000
合 計	446,852

企画展	6,533
常設展	550
パスポート	1,840
目的外使用料	3,076
合 計	11,999

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則で定める書類を添付して、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

- 2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。
 - (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
 - (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
 - (2) 12月30日から翌年の1月3日まで
 - 2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日であるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。
- （平17条例39・一部改正）

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。
 - (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
 - (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
 - (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
 - (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。
- 3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。
- 3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。
- 4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 知事は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、知事が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

（知事が別に定める日＝平成17年10月8日）

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年条例第1号）抄

改正 平成31年4月26日条例第27号

(施行期日)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

(平31条例27・一部改正)

附 則 (平成31年条例第27号)

この条例は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行の日から施行する。

(施行の日=令和元年5月1日)

附 則 (令和2年条例第10号)抄

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

(平26条例1・平31条例1・一部改正)

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 32,090	円 42,790	円 53,490	円 64,200	円 85,600	円 107,000
		土、日曜日 及び休日	38,510	51,360	64,190	77,040	102,720	128,410
	1階席	平日	21,390	28,520	35,660	42,790	57,060	71,330
		土、日曜日 及び休日	25,670	34,230	42,790	51,360	68,470	85,600
小ホール		平日	8,550	11,400	14,250	17,110	22,820	28,520
		土、日曜日 及び休日	10,260	13,670	17,110	20,530	27,370	34,230
スタジオ1			4,830	6,440	8,060	9,670	12,900	16,140
スタジオ2			980	1,320	1,660	1,980	2,650	3,330
大ホール大楽屋1			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール大楽屋2			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール中楽屋1			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋2			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋3			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋4			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
大ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール中楽屋1			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール中楽屋2			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
多目的ギャラリー			4,000	5,340	6,690	8,020	10,700	13,380

備考

1 入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額(入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額)の区分に応じた額を加算した額とする。

ア 3,000円以下のもの 10割相当額(徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあつては、5割相当額)

イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額

ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額

2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。

- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

(団体にあっては、主たる事務所の所在地)

申請者 氏名

(団体にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

(自宅及び勤務先)

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日 () 曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 ()		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計	円		円

(注) ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号
 [設計期間] 2001年4月～2002年7月
 [工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所
 [構造設計] 空間工学研究所
 [設備設計] 明野設備研究所
 [コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡
 [建築面積] 13,887.00㎡
 [延床面積] 19,199.6㎡
 1階：13,165.30㎡、2階：2,988.68㎡
 地下1階：3,045.66㎡
 [建蔽率] 38.4%（許容：60%）
 [容積率] 52.6%（許容：200%）
 [用途] 美術館・劇場
 [規模] 地上2階 地下1階
 [最高高さ] 32.24m
 [構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

- 空調設備、空調方式
 ホール・美術館：単一ダクト方式
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、
 空冷ヒートポンプチラー方式
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、
 ボイラー方式
- 衛生設備
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、
 その他：局所式（電気温水器）
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線
 設備容量：6250kVA
 契約電力：1500kVA
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備
 消火設備：全館スプリンクラー設備
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備
 （ハロンバンク登録）
 補助散水栓
 排煙：自然排煙、機械式排煙
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、
 非常用照明
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・
 砂濾過方式

[施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 施工＝益田窯業
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）
 ＝シマムラ
- 外壁タイル：
 施工＝協和タイル
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

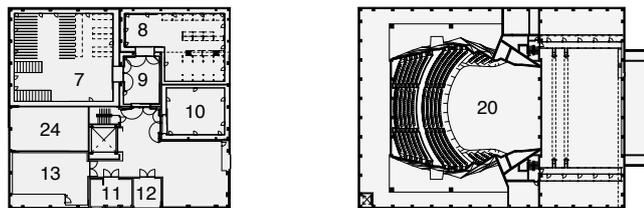
〔諸室面積一覧〕

石見美術館	
●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫3	94.9㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡
●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡
●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

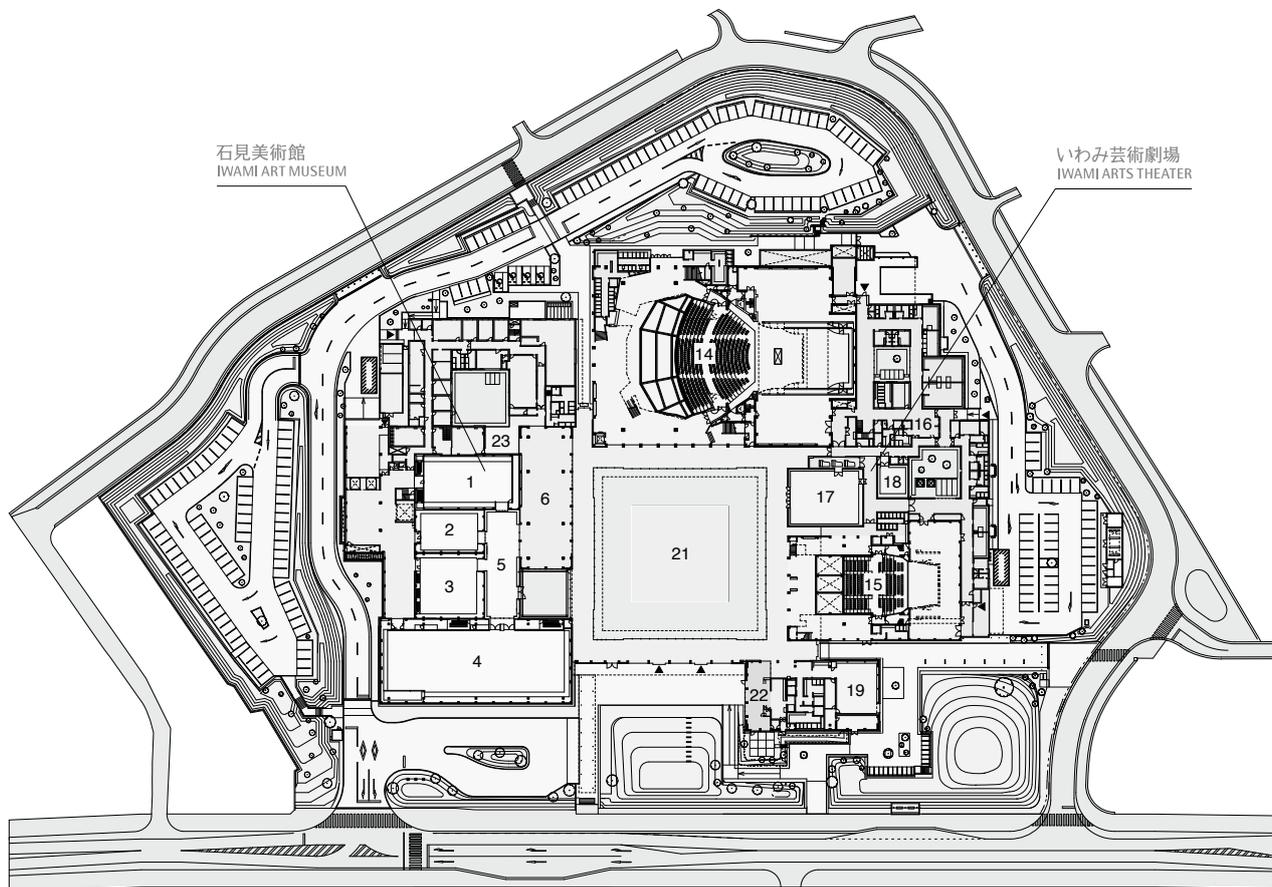
いわみ芸術劇場	
大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡
●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- | | |
|-----------|-----------|
| 1: 展示室 A | 8: 収蔵庫 2 |
| 2: 展示室 B | 9: 収蔵庫前室 |
| 3: 展示室 C | 10: 一時保管庫 |
| 4: 展示室 D | 11: 修復室 |
| 5: 展示前室 | 12: 隔離室 |
| 6: 美術館ロビー | 13: 写真室 |
| 7: 収蔵庫 1 | 24: 収蔵庫 3 |

いわみ芸術劇場

- | |
|----------------|
| 14: 大ホール |
| 15: 小ホール |
| 16: 楽屋 |
| 17: スタジオ 1 |
| 18: スタジオ 2 |
| 19: 多目的ギャラリー |
| 20: 大ホール 2F 客席 |

- | |
|----------------|
| 21: 中庭広場 |
| 22: レストラン |
| 23: ミュージアムショップ |

運営組織体制

施設名称

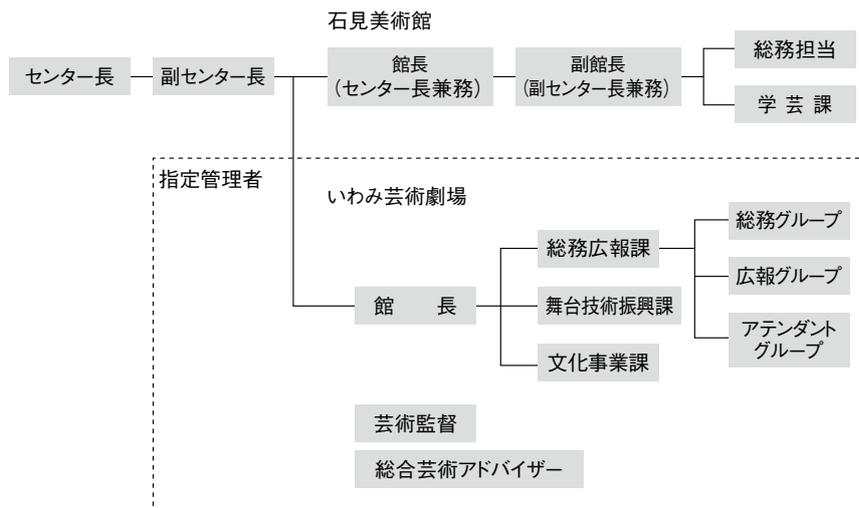
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(14名)

島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：9：30-18：00(展示室への入場は17：30まで)
 いわみ芸術劇場：9：00-22：00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

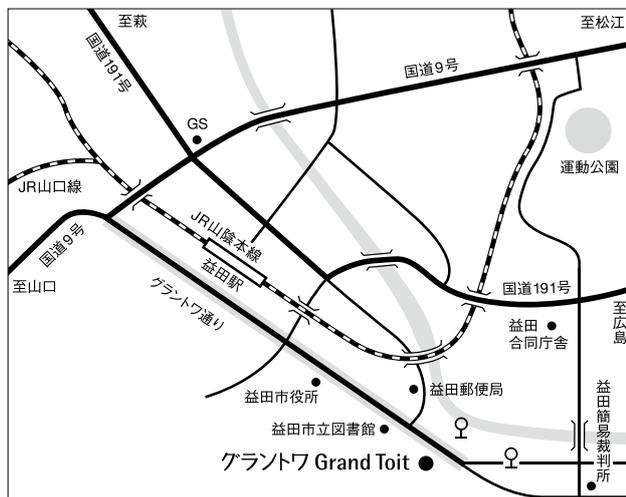
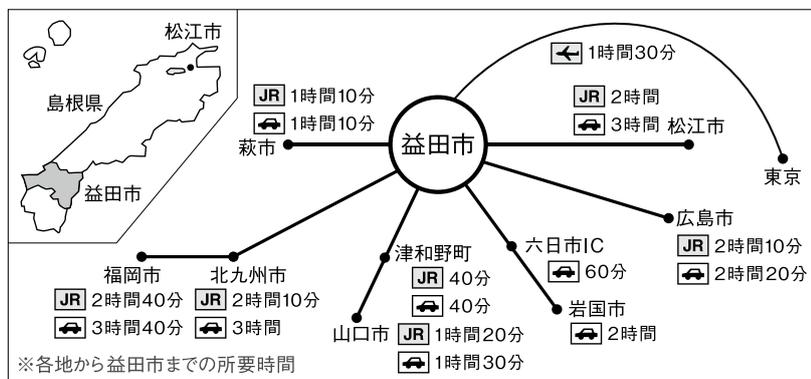
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 *()内は20名以上の団体料金 *企画展により料金が異なる場合あり
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(240台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



令和4年12月22日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <https://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM